

## 基本政策 9

人々のつながりが広がる  
文化の香りと平和に包まれたまち



# 目 次

## 基本政策9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	頁
【125】	自治振興事務（地域振興課）	300
【126】	コミュニティ活動支援事業（地域振興課）	302
【127】	地域イベントの開催等事業	304
【128】	社会貢献活動の推進事業	306
【129】	公衆浴場対策事業	308
【130】	公設浴場管理事業	310
【131】	区民館管理事業	312
【132】	中央会館「銀座ブロッサム」管理事業	314
【133】	セレモニーホール管理事業	316
【134】	浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業	318
【135】	地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）	320
【136】	晴海地区区民施設整備事業（新規）	322
【137】	日本橋特別出張所管理事業	324
【138】	自治振興事務（日本橋特別出張所）	326
【139】	コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）	328
【140】	地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）	330
【141】	日本橋公会堂管理事業	332
【142】	月島特別出張所管理事業	334
【143】	自治振興事務（月島特別出張所）	336
【144】	コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）	338
【145】	地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）	340
9-2	豊かな心を育む文化活動の振興	
【146】	地域文化活動の推進事業	342
【147】	郷土天文館「タイムドーム明石」管理事業	344
【148】	文化財保護事業	346
9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	
【149】	地域間交流の推進事業	348
【150】	平和推進事業	350
【151】	国際交流の推進事業	352
【152】	「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	354

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (地域振興課)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・町会・自治会からの各種相談・要望事項を的確に把握し、良好な地域コミュニティの維持形成を図るとともに、区政の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与するため、区が行う各種事務事業の周知や各種調査等を町会・自治会に委託する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

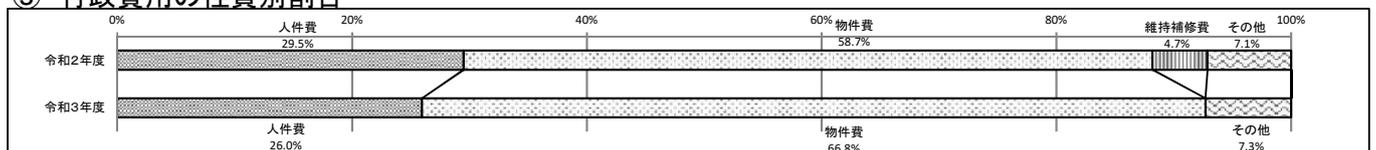
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	22,018,855	16,750,076	△5,268,779	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	43,760,866	43,078,772	△682,094		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	3,498,000	0	△3,498,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,777,343	2,777,343	0		その他	243,375	248,719	5,344
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	243,375	248,719	5,344	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,538,569	1,929,959	△608,610	行政収支差額	△74,350,258	△64,287,431	10,062,827	
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0	
小計	74,593,633	64,536,150	△10,057,483	通常収支差額	△74,350,258	△64,287,431	10,062,827		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△74,350,258	△64,287,431	10,062,827		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	72,210,640	61,905,673	△10,304,967		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△2,139,618	△2,381,758	△242,140		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ推進事務委託 38,423,400円</li> <li>・施設管理業務等委託 875,587円</li> </ul>	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設電気等使用実績減による光熱水費減 △264,076円</li> <li>・非接触式電子温度計購入費の需用費減 △255,200円</li> </ul>	主な増減理由	・十思スクエア2階校友会室床改修工事完了による皆減 △3,498,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費(町会倉庫負担分) 248,719円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・町会倉庫電気使用実績増等による光熱水費増 5,344円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

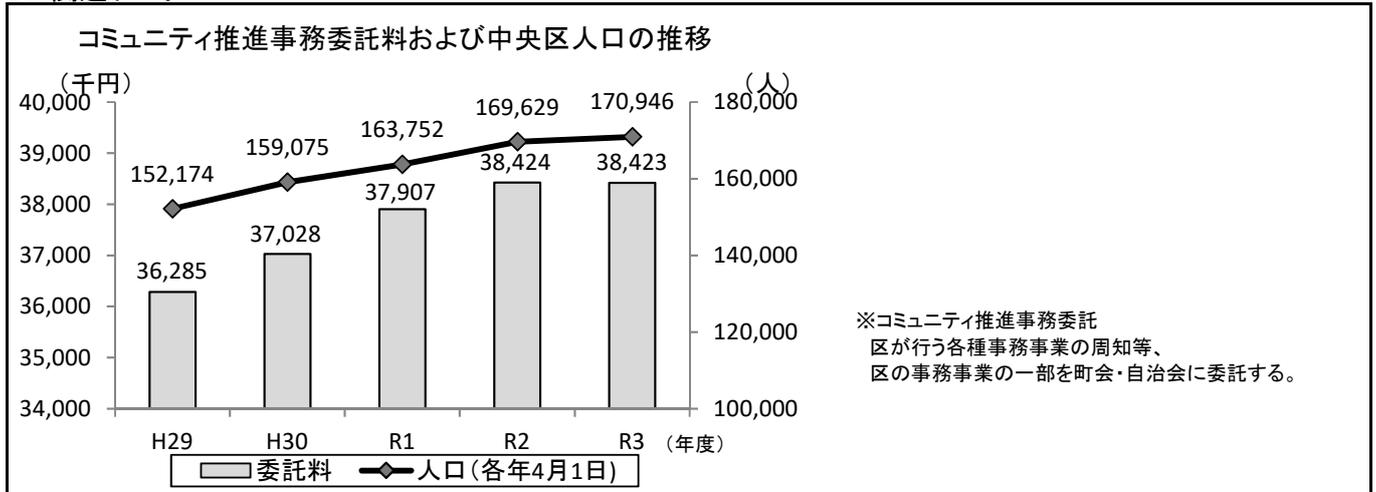
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	1,074,492	813,781	△260,711
固定資産	土地	1,770,683	1,770,683	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	86,049,211	83,271,868	△2,777,343		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	16,456,604	12,262,049	△4,194,555
	重要物品	1	1	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		17,531,096	13,075,830	△4,455,266
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		70,288,799	71,966,722	1,677,923
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		87,819,895	85,042,552	△2,777,343
資産の部 合計		87,819,895	85,042,552	△2,777,343					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・地域集会室他 54,766,923円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 28,504,945円	決算額の主な内訳	・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円
主な増減理由	・地域集会室他減価償却による減 △1,950,023円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫減価償却による減 △827,320円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の主な内訳	・軽自動車 1円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・区が、町会・自治会を通して事業の周知等を行うことにより、区の事業の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与している。また、今後も人口の増加が見込まれるため、コミュニティ推進事務委託料の増加が想定される。

・選手村跡地をはじめとする大規模マンション等における新規団体結成の動向を把握し、既存の町会・自治会との融和など良好な地域コミュニティの形成を支援する必要がある。

・京橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため書面開催となった。

② 今後の方向性

・コミュニティ推進事務委託をはじめ行政懇談会等のさまざまな機会を捉えて、町会・自治会に区の事業を普及発展させ、地域コミュニティを活性化していく。

・コミュニティ連絡相談員を通じて、町会・自治会からの相談や要望等、地域コミュニティに関する動向を的確に把握するとともに新規団体結成時に適切な支援を行うことで良好なコミュニティの維持形成を図る。

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名 区民部地域振興課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	中事業2	中事業3	中事業4	中事業5	中事業6	中事業7	中事業8	中事業9	中事業10	中事業11	中事業12	中事業13	中事業14	中事業15	中事業16	中事業17	中事業18
コミュニティ活動支援事業(地域振興課)	コミュニティ施設(町会・自治会館等)の整備費等助成	町会・自治会活動支援	町会・自治会ネットワークづくり	地域手づくりイベント推進助成	地域の盆おどりに対する助成	地域コミュニティ連携事業補助												

1 事業の目的

・地域コミュニティのさらなる活性化のため、町会・自治会への加入促進を図るチラシの作成や活動を紹介する情報誌の発行等を行うとともに、町会・自治会が「地域の事業所を紹介する取組」や、「区内団体と連携して行う事業」の実施を支援する。また、地域におけるつながりづくりや地域活動の「担い手」を養成するための講座を開催する。  
 ・各町会・自治会の情報発信および連携を促進し、ネットワークづくりを支援するため「町会・自治会ネット」を運用する。さらに、町会・自治会による「手づくり行事」や「盆おどり大会」の実施を支援するとともに、町会・自治会館等の整備費や賃借料の一部を助成する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

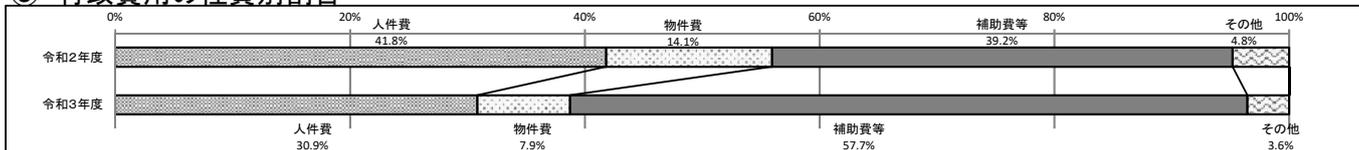
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	10,223,040	14,465,975	4,242,935	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	3,454,453	3,704,938	250,485		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0
	補助費等	9,588,000	27,046,000	17,458,000		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	1,600,000	5,000,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	1,600,000	5,000,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,178,621	1,666,783	488,162		行政収支差額	△22,844,114	△41,883,696
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	24,444,114	46,883,696	22,439,582	通常収支差額	△22,844,114	△41,883,696		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△22,844,114	△41,883,696		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	23,140,201	42,225,338		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	296,087	341,642		
							45,555	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ連携事業補助金 7,680,000円</li> <li>中央区コミュニティ施設賃借料助成金 5,904,000円</li> <li>コミュニティ助成事業助成金 5,000,000円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託 1,430,000円</li> <li>中央区町会・自治会ネットの運営委託 1,133,000円</li> <li>「地域のつながりコミュニティ」担い手養成プログラムの委託 881,400円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ連携事業補助金の創設による補助金皆増 7,680,000円</li> <li>教えて!まちのお店おしらせ事業補助金の創設による補助金皆増 4,796,000円</li> <li>中央区コミュニティ施設整備助成金交付増による補助金増 1,422,000円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」の仕様変更に伴う委託料増 429,000円</li> </ul>

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・コミュニティ助成事業費収入 5,000,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・コミュニティ助成事業の対象団体増加による事業費増に伴う助成費増 3,400,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

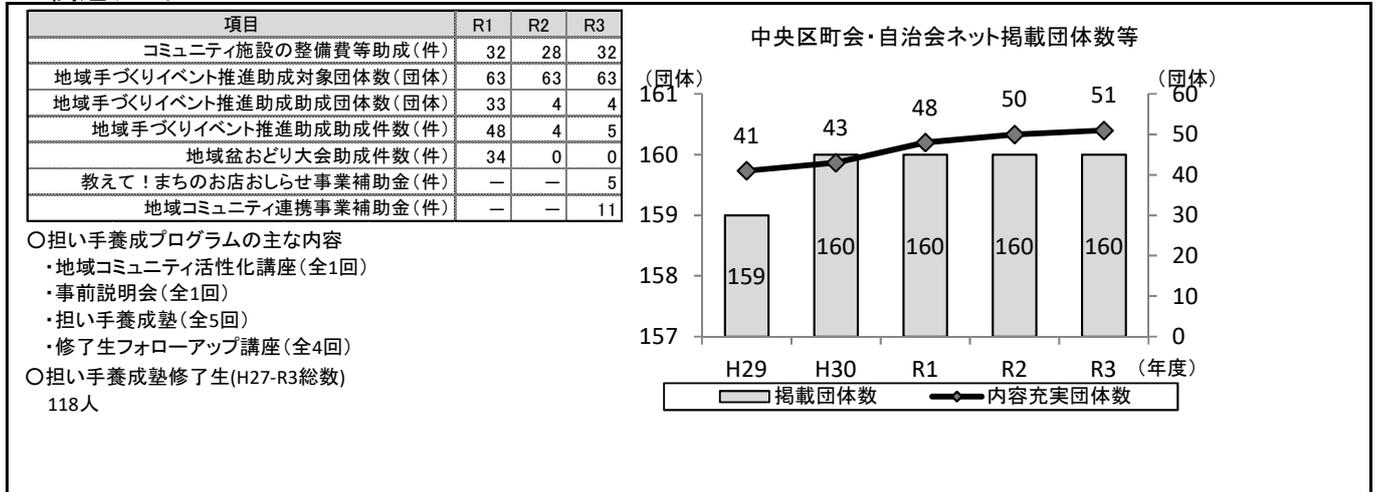
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	498,871	702,811	203,940
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	7,640,566	10,589,951	2,949,385
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	8,139,437	11,292,762	3,153,325
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△8,139,437	△11,292,762	△3,153,325
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進するために、平成27年度より担い手養成塾の講座を開講している。これまでの修了生の総数は118人となり、修了生同士の交流から立ち上がったプロジェクト「子ども食堂(勝どきデイルーム)」では、運営メンバーに新規修了生が加わるなど活発な活動がされており、引き続き地域活動の担い手を養成する。  
 ・町会・自治会への加入促進や地域活動への参加を促すため、町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」(第33号、第34号)を発刊した。  
 ・令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、町会・自治会が主体となって行う地域のイベントは開催数が大幅に減少し、盆おどり大会については助成対象となる大会の開催がなかった。新しい生活様式に沿った地域活動のあり方や活動のデジタル化を含め、社会情勢や町会・自治会の意向に沿った活動を支援していく必要がある。  
 ・ポストコロナを見据え、連合町会が地域の事業所等を紹介するマップやサイトを作成する際の経費や、町会・自治会等が地域の団体と連携して実施する事業に要する経費の一部に補助金を交付することにより、まちににぎわいと活気を取り戻すきっかけとなり、地域活動や地域経済の活性化に寄与した。

② 今後の方向性

・引き続き担い手養成塾を実施し、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や協働ステーション中央の相談事業によるフォローアップの実施により、修了生と多様な団体との連携を支援し地域活動の広がりを促進していく。  
 ・新規転入者をはじめとする町会・自治会未加入者に向けて加入促進や地域活動への参加を促すため、町会・自治会を紹介する「こんにちは町会です」の発刊を継続する。  
 ・町会・自治会の行うイベントについては、実施を検討する団体の意向に応じ、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた政府の指針や各種ガイドライン等を踏まえ、開催に向け支援を行っていく。町会・自治会への調査等を通じて地域活動におけるデジタル技術の活用やニーズを把握するとともにSNS等により独自に発信している情報と区ホームページの連携を一層強化していく。  
 ・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成するため、引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名	区民部地域振興課
-----	----------

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	隅田川花火大会	中事業2	区民還暦祝い事業	中事業3	雪まつり
地域イベントの開催等事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・各種地域事業を開催することで、多くの区民がふれあい、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	22,018,855	9,897,772	△12,121,083	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	4,543,272	5,186,004	642,732		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,538,569	1,140,430	△1,398,139		行政収支差額	△29,100,696	△16,224,206	12,876,490
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	29,100,696	16,224,206	△12,876,490	通常収支差額	△29,100,696	△16,224,206	12,876,490		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△29,100,696	△16,224,206	12,876,490		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	29,738,421	16,457,961	△13,280,460		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	637,725	233,755	△403,970		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「区民還暦祝い事業」祝い品作製委託 4,869,700円</li> <li>・「区民還暦祝い事業」アンケート用はがきの購入 119,700円</li> <li>・「区民還暦祝い事業」封筒・ラベルシールの購入 91,187円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・対象者の増加による「区民還暦祝い事業」祝い品作製委託料の実績増 604,450円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	1,074,492	480,871	△593,621
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	16,456,604	7,245,756	△9,210,848
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		17,531,096	7,726,627	△9,804,469
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△17,531,096	△7,726,627	9,804,469
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

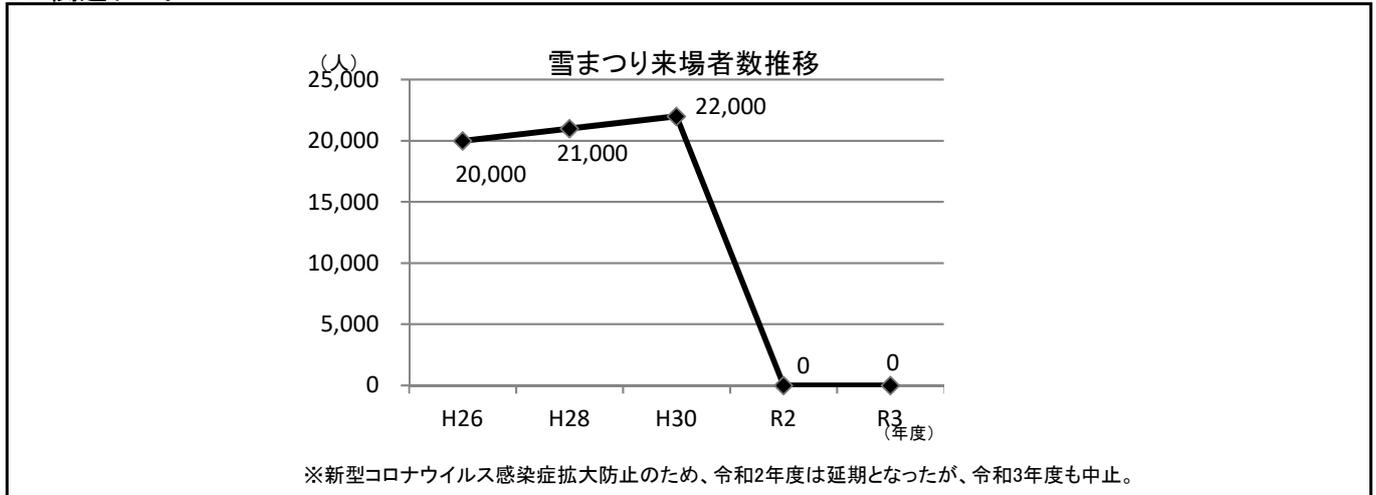
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、以下の事業を中止した。  
 【中止】中央区大江戸まつり盆おどり大会(令和3年度予算計上なし)、隅田川花火大会、雪まつり(隔年開催)  
 ・還暦を迎える区民に対し、還暦祝い品(区内伝統工芸品「しげびき扇子」)と併せて協働ステーション中央の案内を送付することで、対象者の人生の節目を祝福するとともに、学びへの意識高揚や社会貢献活動への参加のきっかけづくりとした。

② 今後の方向性

・イベントの実施において、感染症対策など来場者の安全確保を図り、より安全な運営に努めることで、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。  
 ・中央区大江戸まつり盆おどり大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、開催に向けて準備を進めていく。  
 ・区民還暦祝い事業については、還暦対象者から回収したアンケートの結果を踏まえながら、引き続き還暦祝い品とともに地域活動に関する案内を送付することで、これまでに培った知識や経験・能力を生かし、地域活動に参加する契機としていく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名	区民部地域振興課
-----	----------

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	社会貢献活動団体との協働の推進	中事業2	中事業3
社会貢献活動の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

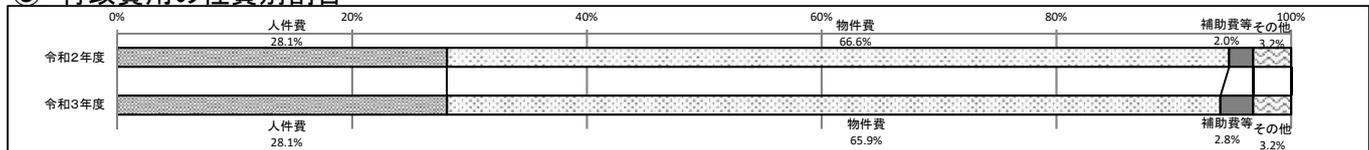
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	9,436,652	10,659,140	1,222,488	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	22,372,654	24,988,541	2,615,887		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	685,000	1,054,000	369,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	800	2,790	1,990
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	800	2,790	1,990
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,087,958	1,228,156	140,198		行政収支差額	△33,581,464	△37,927,047	△4,345,583
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	33,582,264	37,929,837	4,347,573	通常収支差額	△33,581,464	△37,927,047	△4,345,583		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△33,581,464	△37,927,047	△4,345,583		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	33,854,775	38,178,783	4,324,008		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	273,311	251,736	△21,575		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働ステーション中央管理運営等業務委託 14,447,763円</li> <li>・協働提案事業委託(3事業分) 4,754,500円</li> <li>・社会貢献活動情報サイト運用業務委託 1,463,000円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働推進会議委員謝礼 518,000円</li> <li>・社会貢献活動事業補助金の交付 518,000円</li> </ul>
主な増減理由	・協働提案事業実施数の増加(2事業→3事業)による委託料増 2,465,000円	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働推進会議開催回数減による委員謝礼減 △149,000円</li> <li>・社会貢献活動事業補助金の創設に伴う補助金皆増 518,000円</li> </ul>

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・コピー機等利用に伴う受益者負担金 2,790円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・コピー機等利用に伴う受益者負担金実績増 1,990円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	460,497	517,861	57,364
固定資産	土地	0	0	0		その他	0	0	0
	建物	1	1	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	7,052,830	7,803,122	750,292
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		7,513,327	8,320,983	807,656
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△7,513,326	△8,320,982	△807,656
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1	1	0	
資産の部 合計	1	1	0						

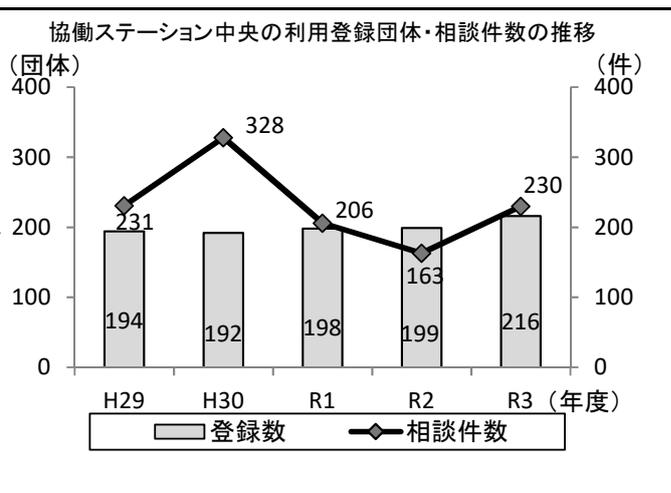
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央(S3年竣工) 1円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

項目	令和2年度	令和3年度
社会貢献活動情報サイト登録数(団体)	142	141
社会貢献活動情報サイト年間アクセス数(件)	6,355	6,724
協働提案事業通算採択数(件)	19	19
社会貢献活動補助金認定事業数(件)	4	2

・中央区協働推進会議の提言による、協働の仕組みに基づき、協働提案事業1事業を新たに実施。(令和2年度採択分)  
 <令和2年度採択事業(実施内容・回数)>  
 「一緒に体を動かそう」～障害児・障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション教室事業～  
 (スポーツ・レクリエーション教室の実施 計22回)  
 ・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信として各種講座を実施。(10回開催、延べ参加者数174人)



4 総括

① 現状・成果・課題

・協働ステーション中央の協働事業提案等に関する相談件数について、令和3年度から一つ一つの相談の質を高めるために、複数回に分けて丁寧に細かく相談内容を聞き取るように相談体制を変更したことや、各種講座等に参加した方に協働ステーション中央の積極的な利用を呼びかけたことなどが、相談件数の増加につながった。  
 ・区民等の地域活動への興味・関心を高めるため、社会貢献活動情報サイト等を通じて、協働ステーション中央が実施する講座の周知や登録団体の情報発信を行った。  
 ・協働提案事業については継続の2事業を含め3事業を実施した。令和2年度に採択された新規実施事業は、協働推進会議において行政課題解決に向けた役割を評価され実施することとなった。令和3年度は2件の相談があったが、採択には至らなかった。  
 ・社会貢献活動事業補助金制度での公募の結果、新たに2事業を補助認定対象とし、合わせて6事業となった。

② 今後の方向性

・協働ステーション中央における登録団体とさまざまな主体を結びつける中間支援拠点としてのコーディネート機能の強化を図り、適切な新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、各種講座等を実施することにより団体活動を支援していく。  
 ・社会貢献活動情報サイト等を活用して、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境づくりを整えるとともに、情報発信や情報交換の場を提供することにより、各種団体の活動支援を行っていく。  
 ・補助金の交付等による団体への幅広い活動支援により社会貢献活動団体の裾野を広げることで、協働事業提案を行うことができる団体を増加させ、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	公衆浴場対策	中事業2	コミュニティふれあい銭湯	中事業3	
公衆浴場対策事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の向上を目的として、公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。また、世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育むため、区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

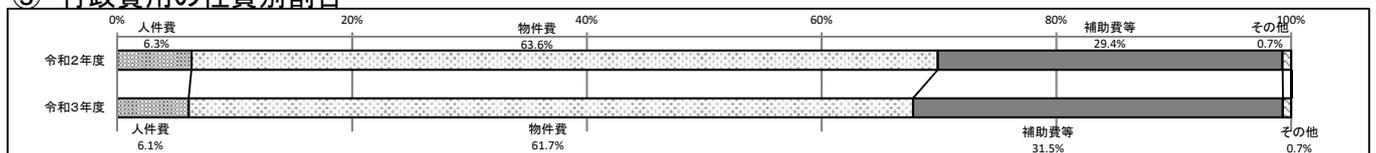
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	3,931,938	3,806,836	△125,102	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	39,558,814	38,618,582	△940,232		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	18,266,488	19,718,970	1,452,482		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	453,316	438,627	△14,689		行政収支差額	△62,210,556	△62,583,015	△372,459
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	62,210,556	62,583,015	372,459	通常収支差額	△62,210,556	△62,583,015	△372,459		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△62,210,556	△62,583,015	△372,459		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	62,324,435	62,672,921	348,486		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	113,879	89,906	△23,973		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 38,448,300円	決算額の主な内訳	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金 19,718,970円
主な増減理由	・ふれあい銭湯開設委託料減 △1,006,500円	主な増減理由	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金実績増による補助金増 1,452,482円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

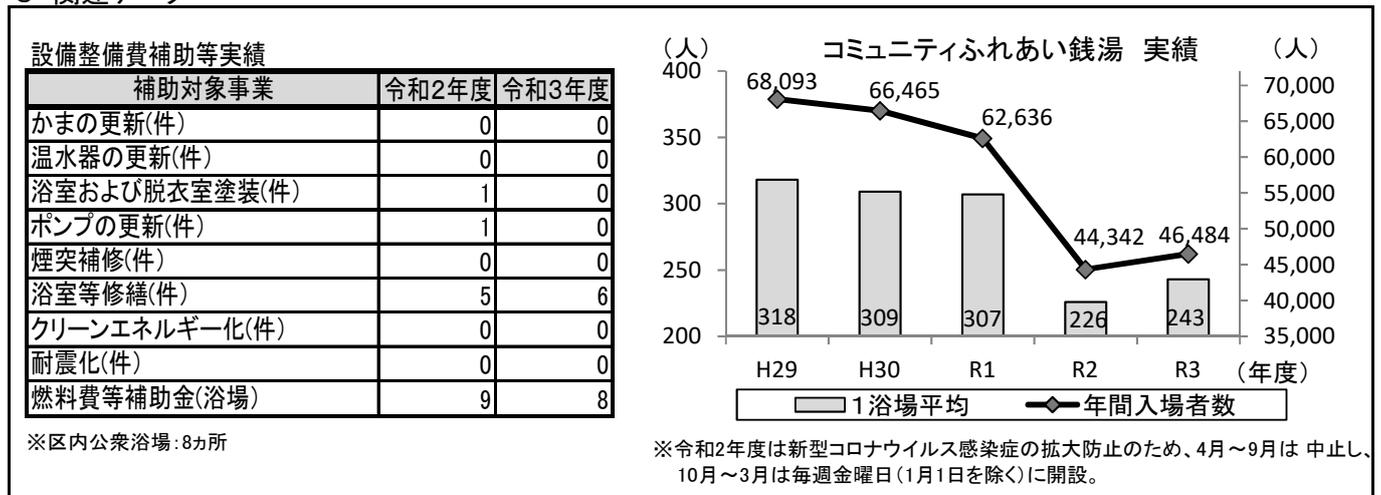
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	191,874	184,950	△6,924
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	2,938,679	2,786,829	△151,850
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	3,130,553	2,971,779	△158,774
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△3,130,553	△2,971,779	158,774
建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
その他	0	0	0				
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。  
 ・コミュニティふれあい銭湯は、令和3年5月から毎月第2・4水曜日の開設とした。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら実施し、世代間交流やコミュニティ意識形成の促進を図っている。

② 今後の方向性

・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。  
 ・世代間交流やコミュニティ意識形成をさらに促進するため、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、コミュニティふれあい銭湯を実施するとともに、公衆浴場のさらなる周知について検討する。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名	区民部地域振興課
-----	----------

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	公設浴場の維持管理	中事業2	中事業3
公設浴場管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

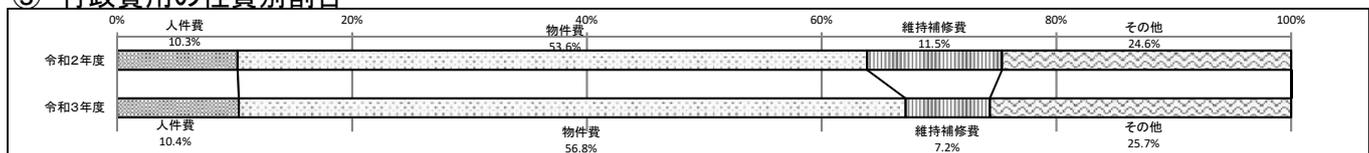
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	2,359,164	2,284,102	△75,062	地方区税	0	0	0
	物件費	12,338,876	12,522,224	183,348	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	2,651,000	1,585,980	△1,065,020	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,394,359	5,394,359	0	その他	612,392	523,925	△88,467
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	612,392	523,925	△88,467
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,990	263,177	△8,813	行政収支差額	△22,402,997	△21,525,917	877,080
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
小計	23,015,389	22,049,842	△965,547	通常収支差額	△22,402,997	△21,525,917	877,080	
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△22,402,997	△21,525,917	877,080	
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	17,076,965	16,185,501	△891,464	
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△5,326,032	△5,340,416	△14,384	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>入船湯給湯ボイラー等設備保守等委託 5,962,295円</li> <li>入船湯賃料及び共益費 3,056,102円</li> <li>設備等修繕費 835,164円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀座湯シャワー交換等工事 837,980円</li> <li>十思湯男子サウナ室ベンチ改修工事 605,000円</li> <li>十思湯貯湯タンク減圧弁全交換工事 143,000円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備保守等委託増 1,266,553円</li> <li>設備不良減による修繕費減 △1,081,476円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀座湯設備交換等工事減 △1,813,020円</li> <li>十思湯設備改修等工事増 748,000円</li> </ul>

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>十思湯電気料金 523,925円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>十思湯電気料金減 △88,467円</li> </ul>	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

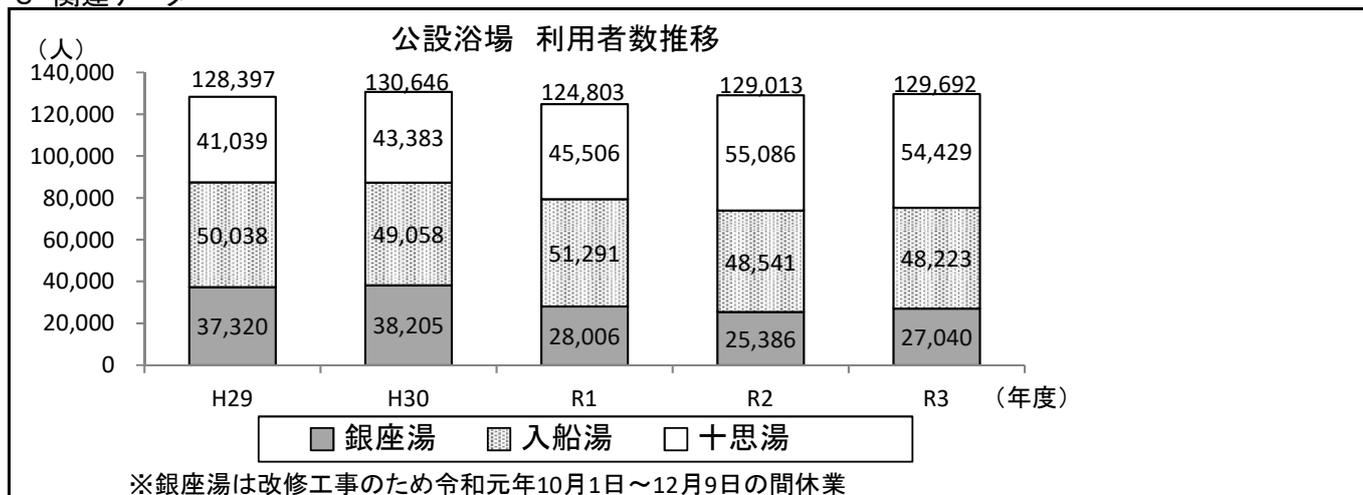
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	115,124	110,970	△4,154
固定資産	土地	106,264,000	106,264,000	0		その他	0	0	0
	建物	237,351,815	231,957,456	△5,394,359	固定負債	特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	1,763,208	1,672,098	△91,110
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	1,878,332	1,783,068	△95,264
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	341,737,483	336,438,388	△5,299,095	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	343,615,815	338,221,456	△5,394,359	
資産の部 合計	343,615,815	338,221,456	△5,394,359						

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・十思湯 231,957,455円 ・銀座湯(S50年竣工) 1円	決算額の主な内訳	・銀座湯敷地 106,264,000円
主な増減理由	・十思湯減価償却による減 △5,394,359円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・公設浴場の利用者は一定数を保っており、公衆浴場の利用ニーズに応じている。

② 今後の方向性

- ・感染症対策を含め、利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、必要に応じて修繕等を行っていく。
- ・コミュニティの形成や高齢者の生きがい・健康増進の観点からさらなる利用者の増加を図るため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名

区民部地域振興課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	区民館の管理運営	中事業2	区民館の改修	中事業3	人形町区民館建物取得(償還費)
区民館管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館を管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

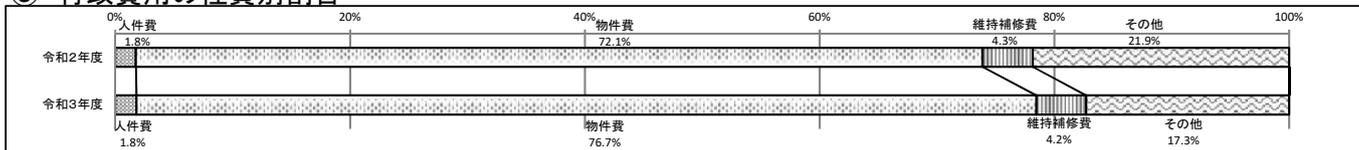
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	7,077,489	6,852,304	△225,185	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	289,432,678	290,434,709	1,002,031		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	17,131,620	16,060,000	△1,071,620		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	29,733,000	9,702,000	△20,031,000		使用料及び手数料	34,378,422	53,375,465	18,997,043
	減価償却費	57,154,291	54,957,562	△2,196,729		その他	339,245	352,655	13,410
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	34,717,667	53,728,120	19,010,453
	賞与・退職給与引当金繰入額	815,969	789,529	△26,440		行政収支差額	△366,627,380	△325,067,984	41,559,396
	その他	0	0	0		金融収支差額	△2,628,501	△1,486,702	1,141,799
小計	401,345,047	378,796,104	△22,548,943	通常収支差額	△369,255,881	△326,554,686	42,701,195		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△369,255,881	△326,554,686	42,701,195		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	312,306,572	271,758,954	△40,547,618		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△56,949,309	△54,795,732	2,153,577		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料 248,185,540円</li> <li>・光熱水費 23,907,732円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京橋区民館照明設備改修工事 10,780,000円</li> <li>・月島区民館照明設備改修工事 4,378,000円</li> <li>・久松町区民館漏水対策工事 902,000円</li> </ul>
主な増減理由	・防犯カメラ用レコーダーの修繕皆増 1,078,000円	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀座区民館および晴海区民館照明設備改修工事皆減△9,431,620円</li> <li>・明石町区民館屋外階段補修工事皆減 △7,700,000円</li> <li>・京橋区民館照明設備改修工事皆増 10,780,000円</li> </ul>

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋保健センター等複合施設中央監視設備改修工事 9,702,000円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民館使用料 53,104,530円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月島区民館冷暖房設備改修工事皆減 △14,487,000円</li> <li>・新富分庁舎および新富区民館受変電設備補修工事皆減 △8,096,000円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増による使用料増 18,897,800円</li> </ul>

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

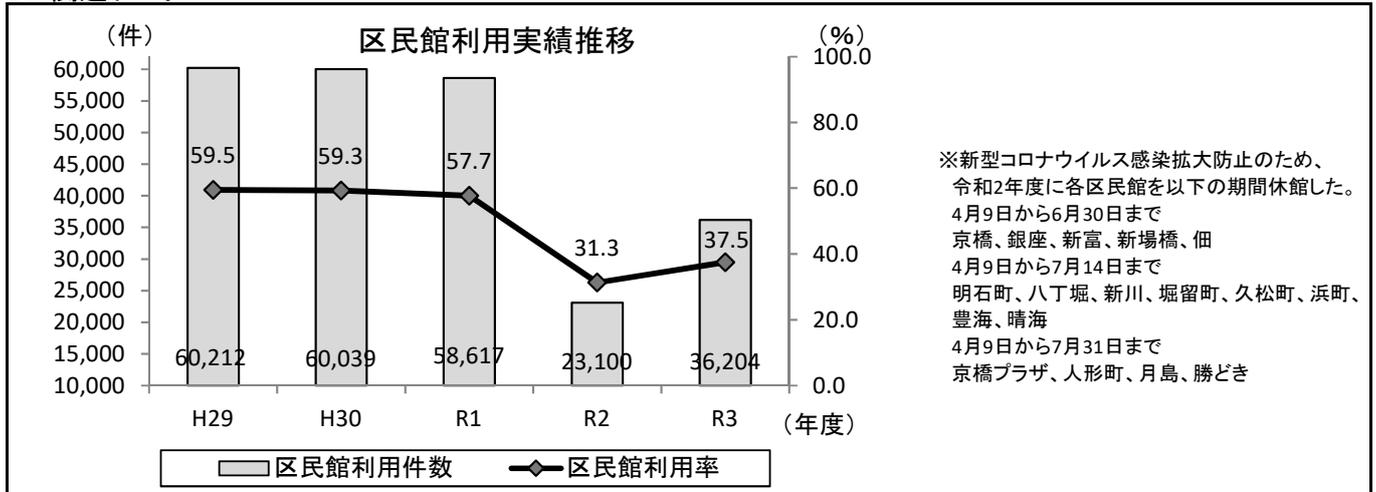
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	345,373	332,910	△12,463
				その他		16,146,000	16,146,000	0	
固定資産	土地	1,085,891,742	1,085,891,742	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	1,245,174,165	1,152,726,370	△92,447,795		退職給与引当金	5,289,623	5,016,293	△273,330
	工作物	347,598	306,621	△40,977		その他	145,314,000	129,168,000	△16,146,000
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	167,094,996	150,663,203	△16,431,793
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,194,516,809	2,159,861,830	△34,654,979	
	建設仮勘定	30,198,300	71,600,300	41,402,000	負債・正味財産の部合計	2,361,611,805	2,310,525,033	△51,086,772	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		2,361,611,805	2,310,525,033	△51,086,772					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・区民館(明石町他14区民館) 1,152,726,370円	決算額の主な内訳	・区民館等敷地(明石町他7区民館) 1,085,891,742円
主な増減理由	・区民館(明石町他13区民館)減価償却による減 △55,103,389円 ・豊海地区第一種市街地再開発事業による豊海地区民館皆減 △37,344,406円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	その他(固定負債)	勘定科目	建設仮勘定
決算額の主な内訳	・人形町保育園等複合施設の施設整備費 129,168,000円	決算額の主な内訳	・八丁堀区民館等複合施設(区民館)建設工事設計業務委託 30,198,300円 ・京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事 41,402,000円
主な増減理由	・人形町保育園等複合施設の施設整備費償還による固定負債減 △16,146,000円	主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事工事費皆増 36,320,000円 ・京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事監理業務委託料皆増 5,082,000円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、令和3年4月25日から5月11日まで休館した。  
 ・令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、利用実績は回復傾向にある。  
 ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。  
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	中央会館「銀座プロッサム」の管理運営	中事業2	中事業3
中央会館「銀座プロッサム」管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区民の文化の向上に寄与し、その福祉の増進を図るため、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

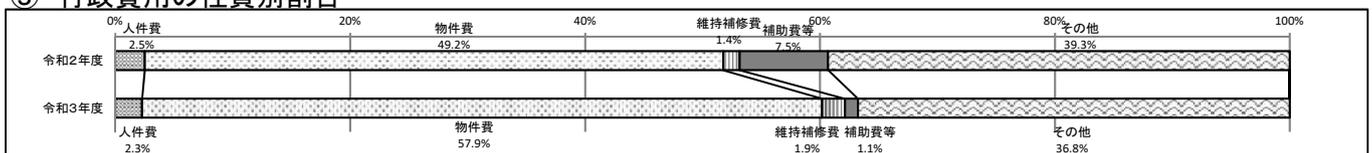
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	7,077,489	6,852,304	△225,185	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	138,666,099	174,233,696	35,567,597		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	3,960,000	5,808,000	1,848,000		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	21,172,271	3,320,304	△17,851,967		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	4,018,338	4,210,656
	減価償却費	109,866,130	109,866,130	0		その他	0	7,921,711
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	4,018,338	12,132,367
	賞与・退職給与引当金繰入額	815,969	789,529	△26,440		行政収支差額	△277,539,620	△288,737,596
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	281,557,958	300,869,963	19,312,005	通常収支差額	△277,539,620	△288,737,596		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△277,539,620	△288,737,596		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	167,878,472	179,033,296		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△109,661,148	△109,704,300		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・指定管理料 171,444,475円	決算額の主な内訳	・舞台機構制御盤補修工事 3,773,000円 ・地下1階倉庫ほか漏水対策工事 2,035,000円
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金収入減に伴う指定管理料の増 33,432,011円	主な増減理由	・舞台機構制御盤補修工事皆増 3,773,000円 ・地下1階倉庫ほか漏水対策工事皆増 2,035,000円 ・冷暖房設備改修工事皆減 △3,960,000円
勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・指定管理者による光熱水費の一部戻入金 5,030,484円 ・指定管理者利益相当分の増による区への納付金 2,891,227円	決算額の主な内訳	・結婚式関連業務使用部分使用料 2,318,452円 ・移動通信用基地局設備使用料 1,870,284円
主な増減理由	・指定管理者による光熱水費の一部戻入金皆増 5,030,484円 ・指定管理者利益相当分の増による区への納付金皆増 2,891,227円	主な増減理由	・結婚式関連業務使用部分の使用料増 192,318円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

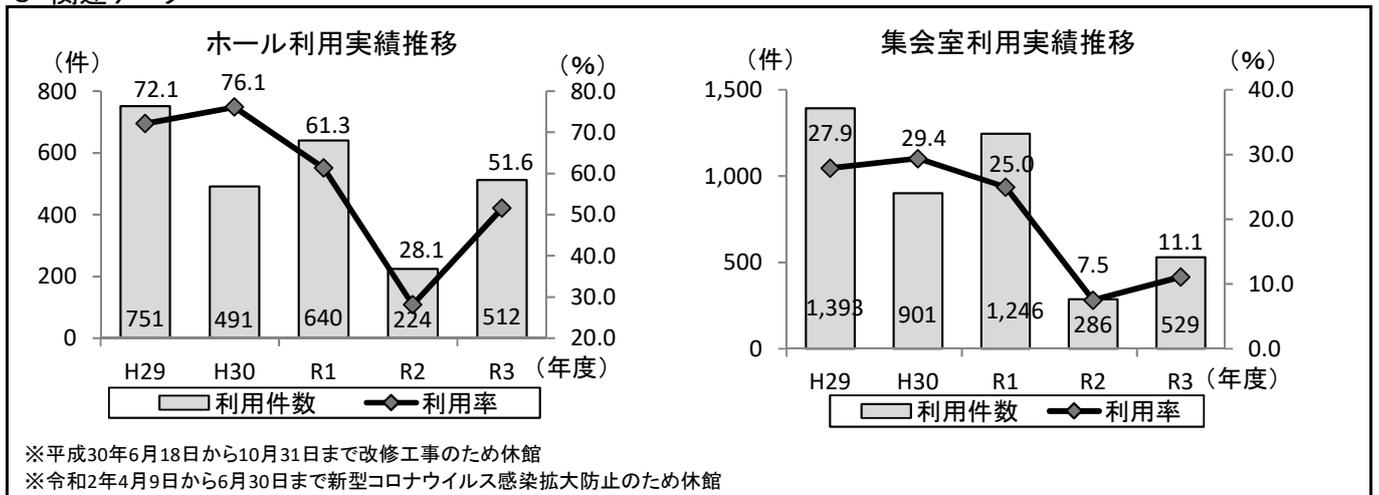
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	345,373	332,910	△12,463
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	612,997,600	612,997,600	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	1,101,024,761	995,874,749	△105,150,012		退職給与引当金	5,289,623	5,016,293	△273,330
	工作物	1,481,936	1,345,018	△136,918		その他	0	0	0
	重要物品	13,737,608	9,158,408	△4,579,200		負債の部合計	5,634,996	5,349,203	△285,793
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,723,606,909	1,614,026,572	△109,580,337	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,729,241,905	1,619,375,775	△109,866,130	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		1,729,241,905	1,619,375,775	△109,866,130					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・中央会館 995,874,749円	決算額の主な内訳	・中央会館敷地 612,997,600円
主な増減理由	・中央会館減価償却による減 △105,150,012円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・グランドピアノ 9,158,400円	決算額の主な内訳	・連続地中壁増深部分 1,345,018円
主な増減理由	・グランドピアノ減価償却による減 △4,579,200円	主な増減理由	・連続地中壁増深部分減価償却による減 △136,918円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、令和3年4月25日から5月11日まで休館した。
- ・令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、ホールや集会室の利用実績は回復傾向にある。
- ・近年、価値観や挙式スタイルの多様化が進んだことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、結婚式・宴会需要が低下している。
- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。
- ・結婚式や宴会業務の需要の変化を踏まえ、施設の利活用について検討していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	セレモニーホールの管理運営	中事業2	中事業3
セレモニーホール 管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

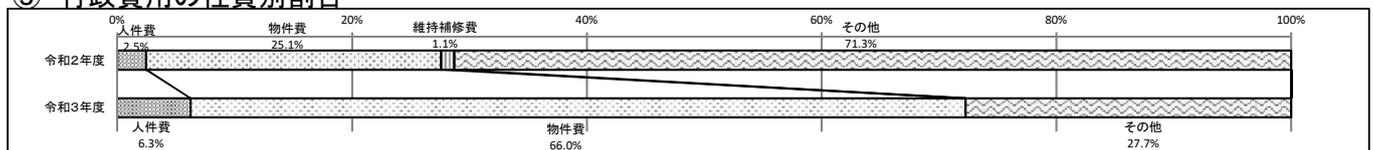
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,359,164	2,284,102	△75,062	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	24,147,969	24,101,413	△46,556		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,084,600	0	△1,084,600		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	58,313,530	0	△58,313,530		使用料及び手数料	4,145,400	5,905,800	1,760,400
	減価償却費	9,863,602	9,863,602	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	4,145,400	5,905,800	1,760,400
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,990	263,177	△8,813		行政収支差額	△91,895,455	△30,606,494	61,288,961
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	96,040,855	36,512,294	△59,528,561	通常収支差額	△91,895,455	△30,606,494	61,288,961		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△91,895,455	△30,606,494	61,288,961		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	82,100,180	20,796,835	△61,303,345		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△9,795,275	△9,809,659	△14,384		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セレモニーホール業務委託 14,923,799円</li> <li>・光熱水費 1,353,152円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セレモニーホール使用料 5,905,800円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数増に伴うセレモニーホール業務委託料の増 660,000円</li> <li>・業務用冷蔵庫の購入皆減 △493,900円</li> <li>・光熱水費の減 △366,352円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績増によるセレモニーホール使用料増 1,760,400円</li> </ul>
勘定科目	投資的経費	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績なし</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房機の改修工事完了に伴う工事費皆減 △58,300,000円</li> </ul>	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

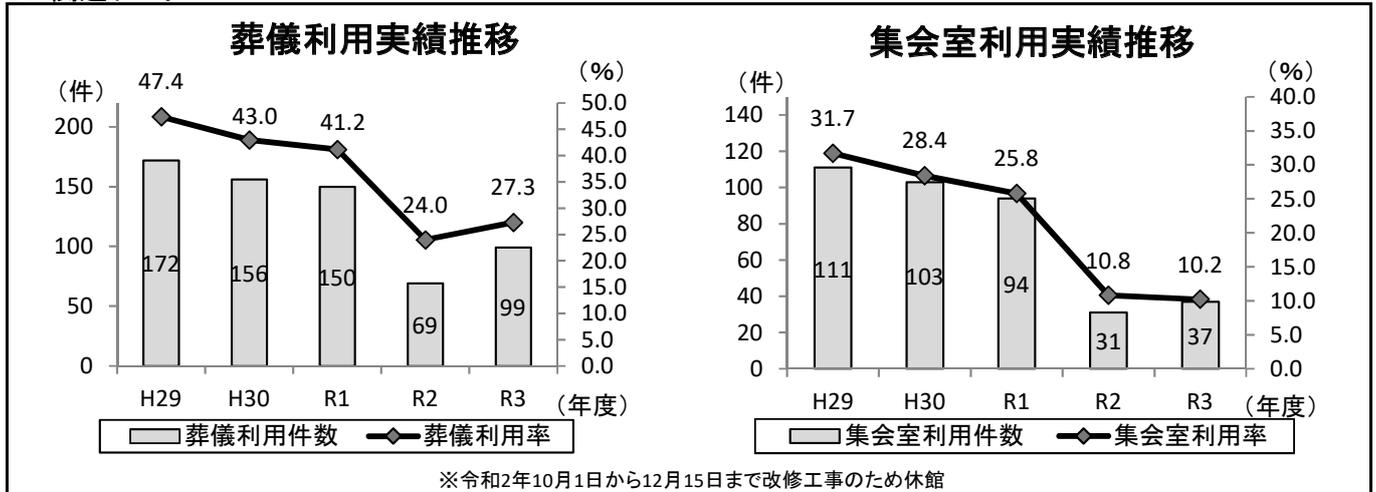
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	115,124	110,970	△4,154
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	120,548,000	120,548,000	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	245,679,588	235,852,406	△9,827,182		退職給与引当金	1,763,208	1,672,098	△91,110
	工作物	910,500	874,080	△36,420		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	1,878,332	1,783,068	△95,264
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	365,259,756	355,491,418	△9,768,338	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	367,138,088	357,274,486	△9,863,602	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		367,138,088	357,274,486	△9,863,602					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・セレモニーホール 235,852,406円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円
主な増減理由	・セレモニーホール減価償却による減 △9,827,182円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 874,080円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁減価償却による減 △36,420円	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。  
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名	区民部地域振興課
-----	----------

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	中事業2	中事業3
浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

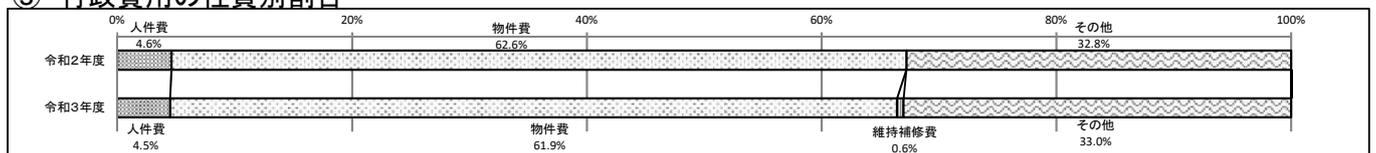
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	3,145,551	3,045,469	△100,082	行政収入	地方区税	0	0	
	物件費	42,616,349	41,800,401	△815,948		特別区財政調整交付金	0	0	
	維持補修費	0	374,000	374,000		国庫支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	4,082,200	3,748,240	△333,960
	減価償却費	21,938,688	21,938,688	0		その他	0	0	
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	4,082,200	3,748,240	△333,960
	賞与・退職給与引当金繰入額	362,653	350,901	△11,752		行政収支差額	△63,981,041	△63,761,219	219,822
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	68,063,241	67,509,459	△553,782	通常収支差額	△63,981,041	△63,761,219	219,822		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△63,981,041	△63,761,219	219,822		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	42,133,457	41,894,456	△239,001		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△21,847,584	△21,866,763	△19,179		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・指定管理料 41,759,259円	決算額の主な内訳	・浜町メモリアル地下1階機械室等漏水対策工事 374,000円
主な増減理由	・特定建築物等定期調査等委託皆減 △1,318,163円	主な増減理由	・浜町メモリアル地下1階機械室等漏水対策工事皆増 374,000円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 3,748,240円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・葬儀利用件数減による使用料減 △333,960円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

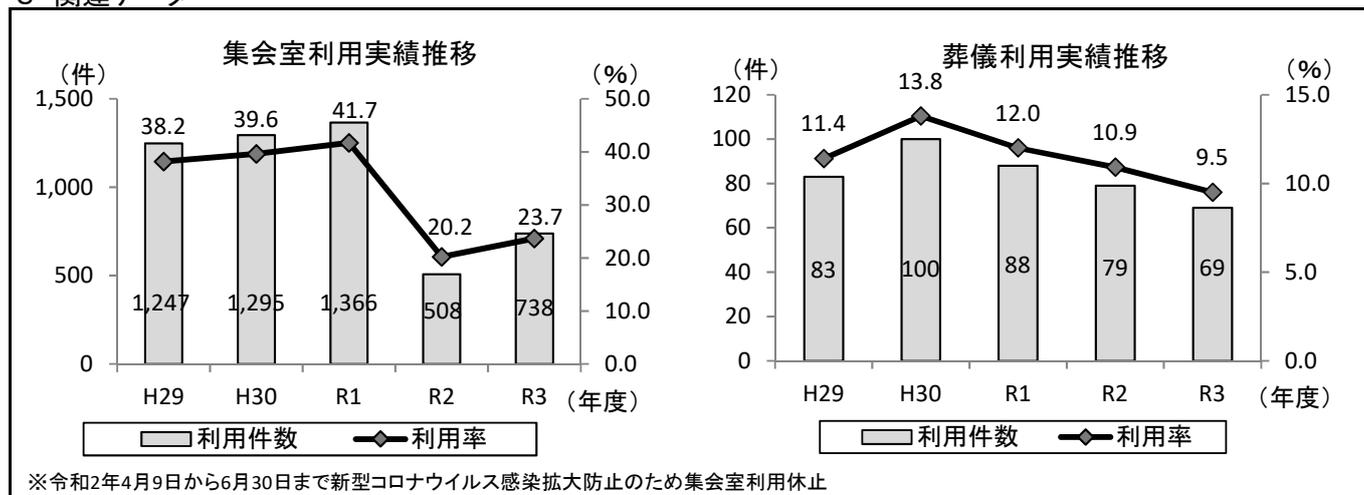
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	153,499	147,960	△5,539
固定資産	土地	331,255,656	331,255,656	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	838,394,078	816,896,795	△21,497,283		特別区債	0	0	0
	工作物	4,909,545	4,468,140	△441,405		退職給与引当金	2,350,943	2,229,463	△121,480
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		2,504,442	2,377,423	△127,019
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		1,172,054,837	1,150,243,168	△21,811,669
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		1,174,559,279	1,152,620,591	△21,938,688
資産の部 合計		1,174,559,279	1,152,620,591	△21,938,688					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・浜町集会施設 816,896,795円	決算額の主な内訳	・浜町集会施設敷地 331,255,656円
主な増減理由	・浜町集会施設減価償却による減 △21,497,283円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・浜町集会施設現場打ち側溝 2,722,016円 ・浜町集会施設縁石 1,096,384円 ・浜町集会施設車路フェンス 649,740円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・浜町集会施設車路フェンス減価償却による減 △222,105円 ・浜町集会施設現場打ち側溝減価償却による減 △156,332円 ・浜町集会施設縁石減価償却による減 △62,968円	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、令和3年4月25日から5月11日まで集会室の利用を休止した。
- ・令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、集会室の利用実績は回復傾向にある。
- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名

区民部地域振興課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2	中事業3
地域コミュニティルーム 管理事業 (地域振興課)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・町会・自治会やさまざまな地域団体の活動を活性化するため、一定地域内の各団体が自由に利用できる自主管理型施設として、地域コミュニティルームを整備する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

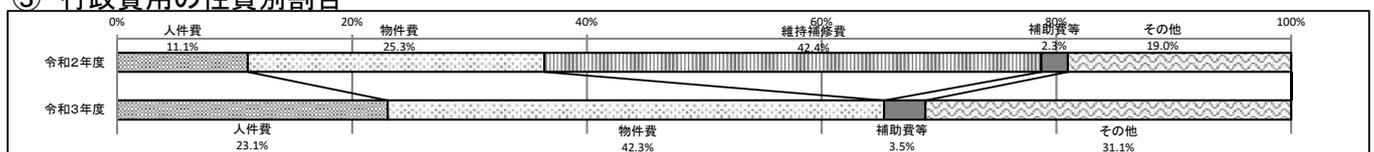
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	2,359,164	3,045,469	686,305	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	5,358,313	5,584,544	226,231		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	8,988,420	0	△8,988,420		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	478,600	466,600	△12,000		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	3,764,071	3,764,071	0		その他	206,063	272,505
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	206,063	272,505
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,990	350,901	78,911		行政収支差額	△21,014,495	△12,939,080
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	21,220,558	13,211,585	△8,008,973	通常収支差額	△21,014,495	△12,939,080		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△21,014,495	△12,939,080		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	17,318,751	9,246,934		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△3,695,744	△3,692,146		
							3,598	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・コミュニティルームトイレ清掃等委託 4,545,753円	決算額の主な内訳	・湊コミュニティルーム管理運営事業助成金 247,000円 ・新川コミュニティルーム共益費 117,600円
主な増減理由	・コミュニティルーム給湯器交換等による需用費増 114,180円	主な増減理由	・湊コミュニティルーム管理運営に係る助成金の減 △32,000円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・光熱水費(京華コミュニティルーム) 190,575円 ・共益費(湊コミュニティルーム) 81,930円
主な増減理由	・湊コミュニティルーム冷暖房設備改修工事完了による皆減 △8,470,000円 ・京橋プラザコミュニティルーム機械設備改修工事設計業務委託完了による皆減 △518,420円	主な増減理由	・京華コミュニティルームにおける光熱水費増 57,412円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	115,124	147,960	32,836
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	92,020,483	88,256,412	△3,764,071		退職給与引当金	1,763,208	2,229,463	466,255
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	1,878,332	2,377,423	499,091
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	90,142,151	85,878,989	△4,263,162	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	92,020,483	88,256,412	△3,764,071	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		92,020,483	88,256,412	△3,764,071					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 88,256,412円 ・京華コミュニティルーム(S4年竣工) 1円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

京橋地域コミュニティルーム		
名称	開設年月	面積(m <sup>2</sup> )
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37
新川コミュニティルーム	平成7年7月	57.00

4 総括

① 現状・成果・課題

・コミュニティルームは、管理運営委員会が自主管理し、町会・自治会や地域団体等の会合や行事などで活用され、地域活動の場としての役割を担っている。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域団体等が会合や行事を中止したため、施設利用料等の収入が減少した。  
 ・令和3年度は、京橋プラザコミュニティルームの冷暖房設備の改修工事等を行った。京橋地域内5か所のコミュニティルームにおいては、経年劣化が進んでいるため、今後も計画的に改修工事等を行う必要がある。  
 ・令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、区施設に準じた利用時間や利用方法となるよう各コミュニティルームの管理運営委員会と調整した。

② 今後の方向性

・コミュニティルームが、より多くの地域住民や団体に認知され活用してもらえるよう管理運営委員会の周知活動を支援する。  
 ・計画的に施設の改修工事等を行うにあたり、京橋地域内5か所のコミュニティルームの劣化状態を把握し施設管理者や庁内関係部署と情報共有することで、改修経費を削減するとともに地域活動の場を継続的に確保していく。  
 ・新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、区の方針等をコミュニティルームの管理運営委員会と迅速かつ正確に共有し、安全・安心な活用が図られるよう努めていく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名

区民部地域振興課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	中事業2	中事業3
晴海地区区民施設整備事業(新規)	中事業4	中事業5	中事業6
	中事業7	中事業8	中事業9
	中事業10	中事業11	中事業12
	中事業13	中事業14	中事業15
	中事業16	中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区民の生活様式の変化や価値観の多様化に伴う地域課題の複雑化に加え、晴海地区に新たなまちができることを踏まえ、地域における自主的な交流を促進するとともに、地域課題を解決するため、温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」をリニューアルし、地域住民等が連携して行う地域活動の総合的な拠点として晴海地域交流センターを開設する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

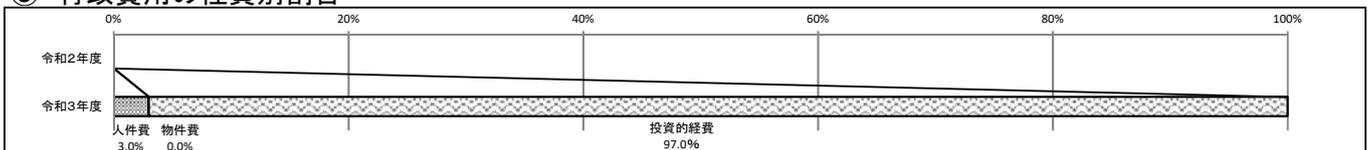
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	0	8,375,040	8,375,040	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	0	6,419	6,419		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	271,122,574	271,122,574		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	964,979	964,979		行政収支差額	0	△280,469,012
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	0	280,469,012	280,469,012	通常収支差額	0	△280,469,012		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	0	△280,469,012		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	0	280,666,805		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	0	197,793		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事 267,000,000円</li> <li>産業廃棄物収集運搬業務及び処分業務委託 4,042,500円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事着工に伴う工事費皆増 271,122,574円</li> </ul>	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	0	406,891	406,891
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	0	6,131,024	6,131,024
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	0	6,537,915	6,537,915
建設仮勘定	0	803,444,000	803,444,000	正味財産の部合計	0	796,906,085	796,906,085
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	803,444,000	803,444,000
資産の部 合計	0	803,444,000	803,444,000				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	
決算額の主な内訳	・中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事 803,444,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事着工に伴う工事費皆増 803,444,000円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

【晴海地域交流センター施設概要】

- 開設時期(予定)  
令和5年10月
- 所在地  
中央区晴海5-2-3
- 敷地面積  
約29,700㎡(中央清掃工場の敷地を含む)
- 延床面積  
4,560.7㎡
- 構造・規模  
鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造

	改修前(リニューアル前)	改修後(リニューアル後)
フロア	主な機能	
屋上	庭園、ジャブジャブ池	球技用コート、子どもの遊び場、フリースペースなど
3階	温浴施設	トレーニングスタジオ、音楽スタジオ、ワークスタジオ
2階	集会室(会議室)、和室、レストラン	集会室(会議室)、学習スタジオ、料理スタジオ、レストラン
1階	駐車場	フリースペース(多世代交流スタジオ、地域活動スタジオ、展示スタジオ) ※地上駐車場有

【晴海地域交流センター整備スケジュール】

- 令和元年度 基本設計
- 令和2年度 実施設計
- 令和3年度～令和5年度 リニューアル工事
- 令和5年10月 開設(予定)



4 総括

① 現状・成果・課題

・地域主体の活動を生み出すコミュニティの核となる施設へと改修していくために、地域住民等の意見を取り入れながら、リニューアルを進めている。令和元年度は、基本設計の検討において、ワークショップの中で地域住民等の意見を聞きながら基本設計の方針をまとめた。令和2年度からは、晴海コミュニティ構想検討会議の分科会を設立し、基本設計に基づいた施設の運営における地域の方々の関わり方について協議を行い、地域住民等の意見をリニューアルに反映させている。

② 今後の方向性

・地域における自主的な交流を促進するとともに、地域課題を解決するための地域活動を行う総合的な拠点施設として、円滑な運営を図るため、地域住民や地元企業などで構成される晴海地域交流センター運営協議会を設置する。(令和4年7月1日設置)  
 ・指定管理者の選定にあたり、晴海地域交流センター運営協議会が参画するとともに、開設後についても、晴海地域交流センター運営協議会、指定管理者、区の三者で連携して、定期的に施設の運営について意見交換などを行っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	日本橋特別出張所の管理運営	中事業2	日本橋特別出張所の改修	中事業3	
日本橋特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- 日本橋地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。
- 日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を図り、公務の円滑かつ適正な運営を確保する。
- 特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

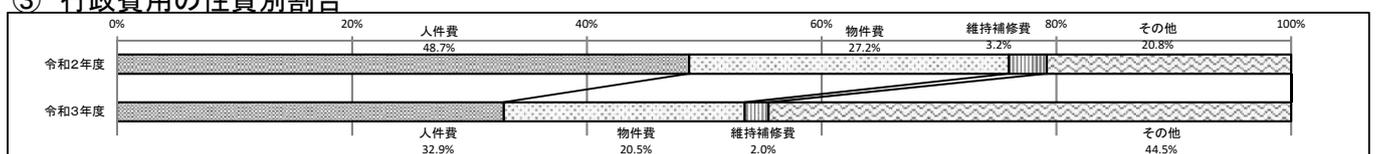
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	57,199,345	54,007,414	△3,191,931	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	31,972,610	33,644,384	1,671,774		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	3,787,872	3,295,072	△492,800		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	48,950,000	48,950,000		使用料及び手数料	1,114,200	1,132,500
	減価償却費	17,733,050	17,733,050	0		その他	18,631	31,834
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	1,132,831	1,164,334
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,709,076	6,316,231	△392,845		行政収支差額	△116,269,122	△162,781,817
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	117,401,953	163,946,151	46,544,198	通常収支差額	△116,269,122	△162,781,817		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△116,269,122	△162,781,817		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	100,221,487	146,343,409		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△16,047,635	△16,438,408		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・自動火災報知設備受信機取替工事 48,950,000円	決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 18,378,921円 ・光熱水費 6,271,339円
主な増減理由	・自動火災報知設備受信機取替工事の皆増 48,950,000円	主な増減理由	・使用量実績増による光熱水費増 1,621,146円
勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・雨水再利用水槽揚水ポンプ更新工事 1,298,000円 ・ホール天井漏水補修工事 437,800円	決算額の主な内訳	・納税証明手数料 1,132,500円
主な増減理由	・補修工事実績減による維持補修費の減 △492,800円	主な増減理由	・納税証明手数料実績増による手数料の増 18,300円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

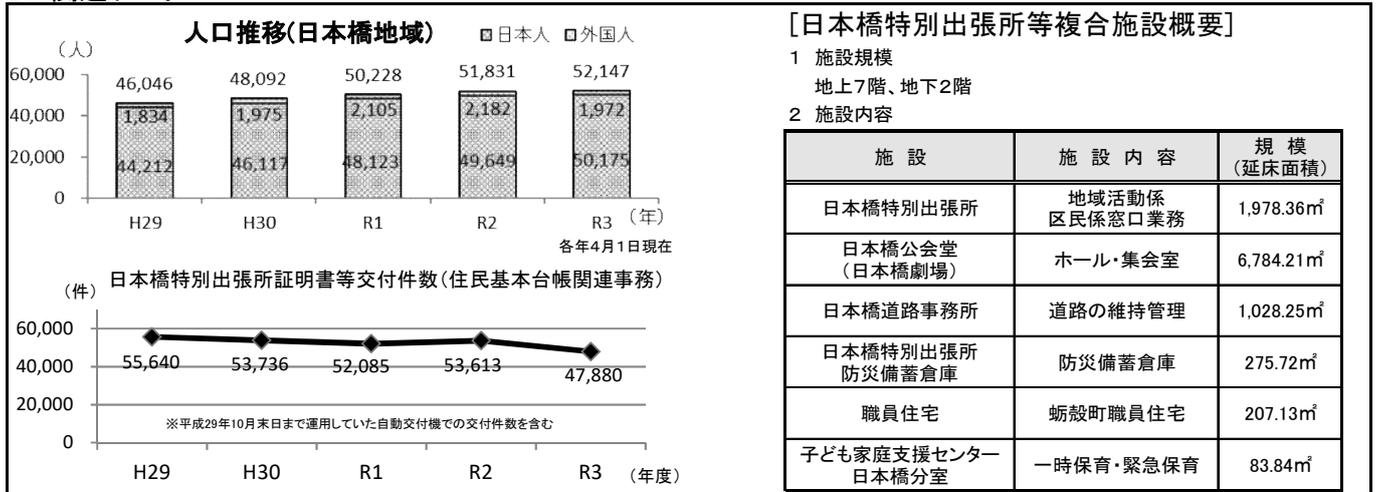
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	2,839,730	2,663,283	△176,447
固定資産	土地	66,356,466	66,356,466	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	476,039,945	459,038,520	△17,001,425		特別区債	0	0	0
	工作物	7,811,077	7,079,452	△731,625		退職給与引当金	43,492,452	40,130,342	△3,362,110
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	46,332,182	42,793,625	△3,538,557	
	建設仮勘定	102,605,800	102,605,800	0	正味財産の部合計	606,481,106	592,286,613	△14,194,493	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	652,813,288	635,080,238	△17,733,050	
資産の部 合計		652,813,288	635,080,238	△17,733,050					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	建設仮勘定
決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所 459,038,520円	決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設大規模改修実施設計業務委託 102,605,800円
主な増減理由	・日本橋特別出張所建物の減価償却による減 △17,001,425円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	土地	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設敷地 66,356,466円	決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所 Monument 2,596,623円 ・日本橋特別出張所スリット型排水溝 3,185,784円
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	・日本橋特別出張所工作物の減価償却による減 △731,625円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・日本橋特別出張所等複合施設は、平成11年開設から20年以上が経過している。定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。

・大規模改修工事を想定した修繕の優先順位を検討しながら維持管理を行い、施設の日常使用の安全確保に努めた。

・施設設備の経年劣化は進行しており、日常の保守点検をきめ細かく実施していく必要がある。

・今後の窓口業務は、キャッシュレス決済導入等デジタル技術の活用による利便性の向上など、区民ニーズに合ったサービスを提供していく必要がある。

② 今後の方向性

・令和4年度における大規模改修実施設計の見直しに伴い、施設環境を改善してより良い施設となるよう検討を進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・日本橋地域におけるコミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。  
 ・区内の町会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

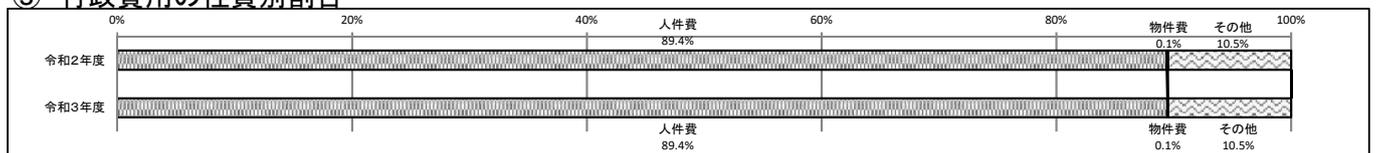
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	6,956,677	6,750,926	△205,751	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	10,109	7,050	△3,059		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	815,969	789,529	△26,440	行政収支差額	△7,782,755	△7,547,505	235,250	
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0	
小計	7,782,755	7,547,505	△235,250	通常収支差額	△7,782,755	△7,547,505	235,250		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△7,782,755	△7,547,505	235,250		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	7,987,737	7,709,335	△278,402		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	204,982	161,830	△43,152		

② 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	345,373	332,910	△12,463
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	5,289,623	5,016,293	△273,330
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		5,634,996	5,349,203	△285,793
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△5,634,996	△5,349,203	285,793
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(日本橋地域)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数(団体)	68	68	68	68	68
出席団体数(団体)	44	43	45	※	※
出席率(%)	64.7	63.2	66.2	※	※

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

4 総括

① 現状・成果・課題

・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しているが、令和3年度は、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった。この会議は、町会長から直接意見をいただく場として重要な役割を果たしているため、新型コロナウイルス感染症収束後は、従来と同様の形式で実施していく。

・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

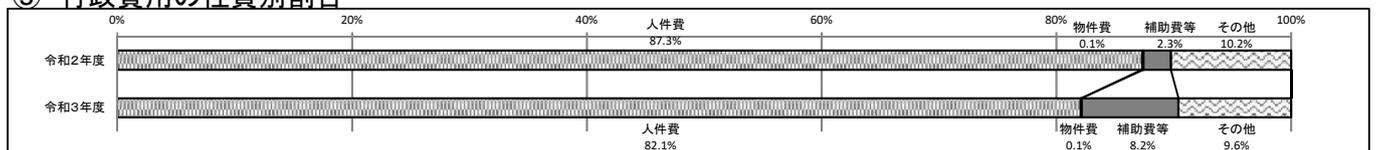
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	7,729,642	7,501,030	△228,612	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	11,232	7,833	△3,399		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	206,000	754,000	548,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	906,631	877,255	△29,376		行政収支差額	△8,853,505	△9,140,118	△286,613
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	8,853,505	9,140,118	286,613	通常収支差額	△8,853,505	△9,140,118	△286,613		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△8,853,505	△9,140,118	△286,613		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	9,081,265	9,319,929	238,664		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	227,760	179,811	△47,949		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 754,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・地域手づくりイベント推進助成金の実績増による助成金の増 548,000円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	383,747	369,900	△13,847
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	0	0	0		退職給与引当金	5,877,358	5,573,659	△303,699
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	6,261,105	5,943,559	△317,546
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△6,261,105	△5,943,559	317,546	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(日本橋)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象団体数(団体)	68	68	68	68	68
助成団体数(団体)	51	55	52	1	4
助成割合(%)	75.0	80.9	76.5	1.5	5.9
助成件数(件)	74	81	77	1	5

地域盆おどり大会助成件数(日本橋)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
助成件数(件)	25	26	26	※	※

※令和2, 3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆おどりの開催に対し、助成を行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、町会が開催方法や内容を工夫した結果、令和2年度に比べ助成団体数および助成件数ともに若干増加したが、いまだ多くの町会がイベントや盆おどりの開催を控えている状況にある。

・今後のイベントおよび盆おどりの開催については、新型コロナウイルス感染症の状況や国や東京都からの要請及び協力依頼内容に大きく影響されることが懸念される。

② 今後の方向性

・町会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を高めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。

・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、引き続き町会と連携しながら、地域のイベント等を支援していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名 区民部日本橋特別出張所

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2	中事業3
地域コミュニティルーム管理事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・日本橋地域の町会活動の円滑化を促進し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、町会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの提供。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	2,318,892	2,250,309	△68,583	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	8,282,756	8,431,668	148,912		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	0	103,620	103,620		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	3,444,398	3,444,398	0		その他	40,065	53,224
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	40,065	53,224
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,990	263,177	△8,813		行政収支差額	△14,277,971	△14,439,948
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	14,318,036	14,493,172	175,136	通常収支差額	△14,277,971	△14,439,948		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△14,277,971	△14,439,948		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	10,901,900	11,049,493		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△3,376,071	△3,390,455		

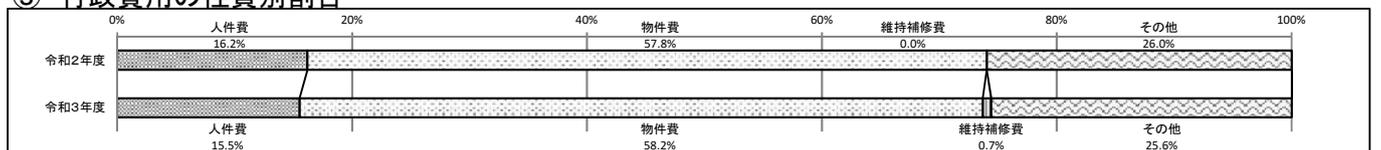
② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費 2,005,777円</li> <li>浜町コミュニティルーム賃借料 1,784,332円</li> <li>地域コミュニティルーム警備委託 1,235,520円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜町コミュニティルーム2階和室押入カーテン設置工事 70,620円</li> <li>浜町コミュニティルーム煙感知器取替工事 33,000円</li> </ul>
主な増減理由	・使用実績増による光熱水費増 127,932円	主な増減理由	・浜町コミュニティルーム2階和室押入カーテン設置工事及び煙感知器取替工事の皆増 103,620円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム電気料 53,224円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・十思コミュニティルーム電気料実績増による電気料の増 13,159円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	115,124	110,970	△4,154
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	60,176,529	56,732,131	△3,444,398		退職給与引当金	1,763,208	1,672,098	△91,110
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	1,878,332	1,783,068	△95,264
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	58,298,197	54,949,063	△3,349,134	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	60,176,529	56,732,131	△3,444,398	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		60,176,529	56,732,131	△3,444,398					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム 31,761,548円 中洲コミュニティルーム 15,851,703円 浜町コミュニティルーム 9,118,879円 十思コミュニティルーム 1円 (S24竣工)	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・地域コミュニティルームの減価償却による減 △3,444,398円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

日本橋地域コミュニティルーム

名称	開設年月	面積(㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年11月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年10月	126.44
十思コミュニティルーム	平成13年1月	201.6

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会の自主管理のもと、コロナ禍においても、感染症防止対策を講じながら町会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。  
 ・日本橋地域コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。  
 ・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会等の活動の場を提供していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	日本橋公会堂管理事業	中事業2	中事業3
日本橋公会堂管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区民の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、ホール(日本橋劇場)と集会室の貸出および維持管理に関する業務を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

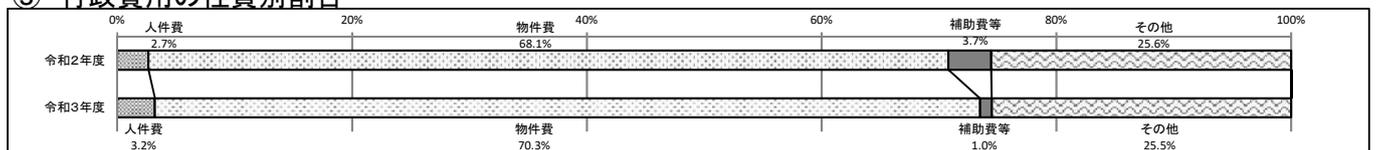
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	6,183,712	7,501,030	1,317,318	行政収入	地方区税	0	0	
	物件費	158,879,265	164,609,835	5,730,570		特別区財政調整交付金	0	0	
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	
	補助費等	8,519,500	2,349,500	△6,170,000		分担金及び負担金	0	0	
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	34,997,375	58,843,175	23,845,800
	減価償却費	58,851,443	58,851,443	0		その他	0	0	
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	34,997,375	58,843,175	23,845,800
	賞与・退職給与引当金繰入額	725,306	877,255	151,949		行政収支差額	△198,161,851	△175,345,888	22,815,963
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	233,159,226	234,189,063	1,029,837	通常収支差額	△198,161,851	△175,345,888	22,815,963		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△198,161,851	△175,345,888	22,815,963		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	139,492,615	116,674,256	△22,818,359		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△58,669,236	△58,671,632	△2,396		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料 68,991,742円</li> <li>・光熱水費 18,929,623円</li> <li>・施設維持管理 14,983,469円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋公会堂使用料還付金 2,349,500円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用実績増による光熱水費増 4,893,344円</li> <li>・施設維持管理の実績増による維持管理費の増 359,290円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋公会堂使用料還付金実績減による還付金の減 △6,170,000円</li> </ul>

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋公会堂使用料 58,843,175円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋公会堂使用実績増による使用料の増 23,845,800円</li> </ul>	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

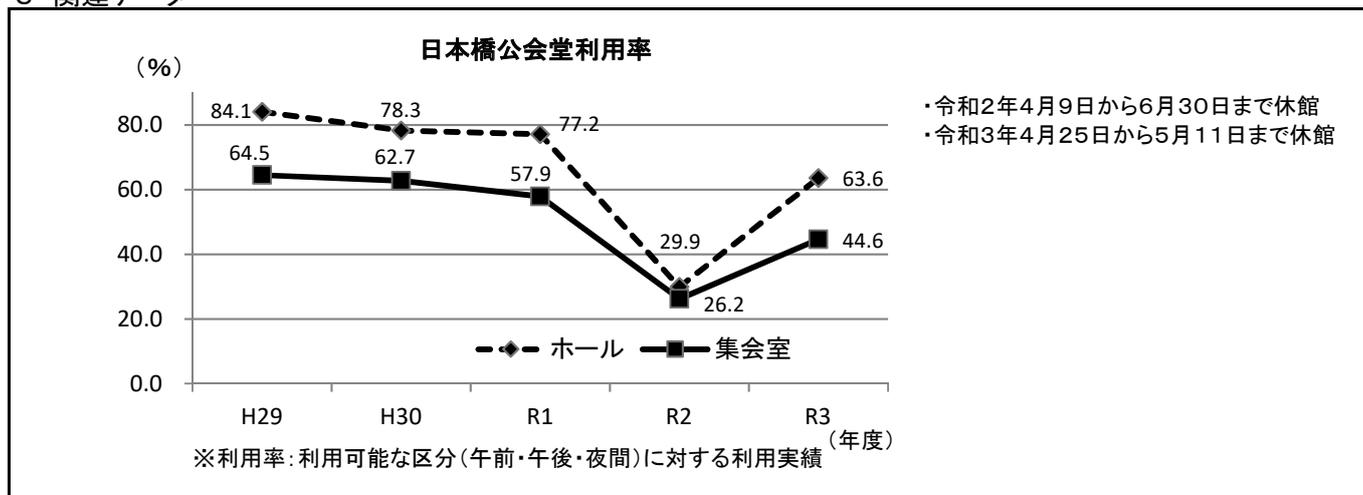
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	306,998	369,900	62,902
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	1,632,440,425	1,574,138,982	△58,301,443		退職給与引当金	4,701,887	5,573,659	871,772
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	4,950,017	4,400,017	△550,000		負債の部合計	5,008,885	5,943,559	934,674
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,632,381,557	1,572,595,440	△59,786,117	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,637,390,442	1,578,538,999	△58,851,443	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		1,637,390,442	1,578,538,999	△58,851,443					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・日本橋公会堂 1,574,138,982円	決算額の主な内訳	・センターピンスポットライト2台 3,520,000円 ・花道用ピンスポットライト 880,000円
主な増減理由	・日本橋公会堂建物の減価償却による減 △58,301,443円	主な増減理由	・ピンスポットライトの減価償却による減 △550,000円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・日本橋公会堂は、平成11年開設から20年以上経過している。ホールは、定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、舞台装置等を含めた各種装置・構成部品に経年劣化が見られるものが多い。
- ・区民施設として貸し出すにあたり、日常の点検や修繕を徹底し施設の安全性向上に努めた。
- ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年4月25日から5月11日まで休館した。

② 今後の方向性

- ・令和4年度に大規模改修実施設計の見直しを行うこととなり、施設環境を改善してより良い施設となるよう検討を進めていく。
- ・大規模改修実施までの間、日常使用の不具合や事故を未然に防ぐため、必要な修繕を行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、国や東京都の対応方針、業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名 区民部月島特別出張所

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	月島特別出張所の管理運営	中事業2	中事業3
月島特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。  
 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険など各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務など区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

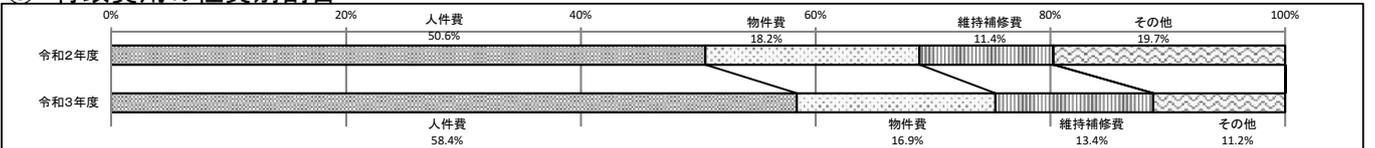
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	70,269,920	75,579,312	5,309,392	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	25,341,858	21,893,206	△3,448,652		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	15,813,210	17,403,298	1,590,088		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	17,100	17,100	0		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	13,498,100	0	△13,498,100		使用料及び手数料	1,746,600	1,650,000
	減価償却費	5,674,766	5,674,766	0		その他	13,896	28,517
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	1,760,496	1,678,517
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,250,350	8,860,268	609,918		行政収支差額	△137,104,808	△127,749,433
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	138,865,304	129,427,950	△9,437,354	通常収支差額	△137,104,808	△127,749,433		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△137,104,808	△127,749,433		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	133,502,648	123,890,762		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△3,602,160	△3,858,671		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設維持管理等業務委託 14,550,056円</li> <li>光熱水費 2,677,036円</li> <li>レイアウト変更に伴う机椅子等購入費 1,090,100円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常照明用蓄電池取替工事 5,324,000円</li> <li>吸気式冷温水発生機整備工事 4,840,000円</li> <li>警備室空調設備改修工事 1,254,000円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸気式冷温水機冷水系整備作業委託の皆減 △4,950,000円</li> <li>レイアウト変更に伴う机椅子等購入費の皆増 1,090,100円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常照明用蓄電池取替工事及び吸気式冷温水発生機整備工事の皆増 10,164,000円</li> <li>自動ドア駆動装置取替工事の皆増等修繕工事費の増 3,598,688円</li> <li>雨水排水溝及び電話交換機工事費の皆減 △12,172,600円</li> </ul>
勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,650,000円
主な増減理由	・外壁改修工事費の皆減 △13,498,100円	主な増減理由	・納税証明等発行件数減による手数料減 △96,600円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

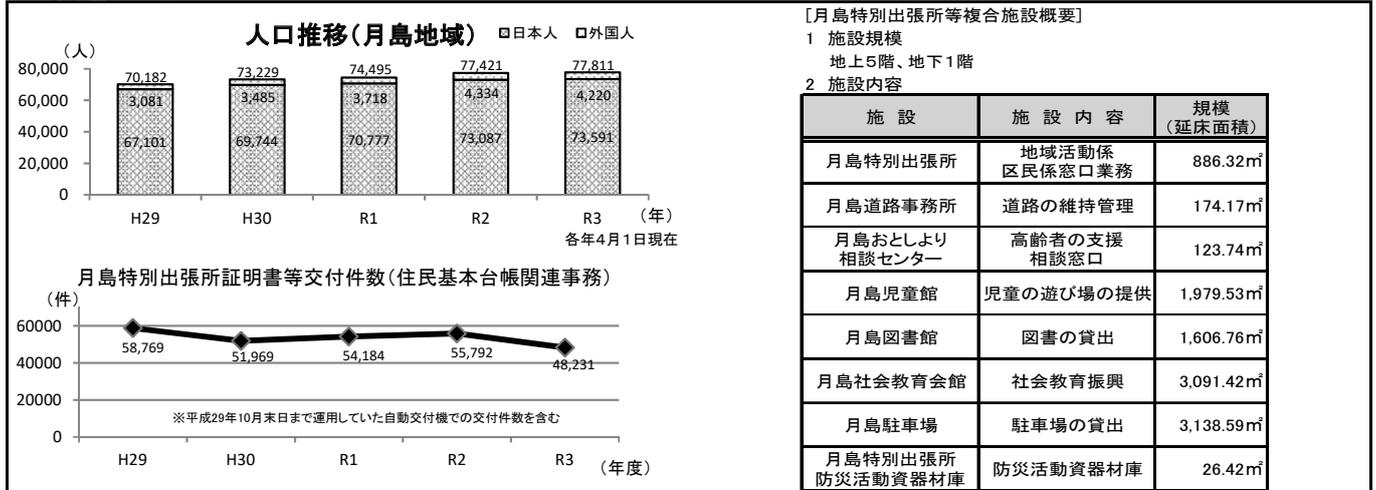
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	
	その他	0	0	0		賞与引当金	3,492,100	3,735,995	243,895
固定資産	土地	937,650	937,650	0	その他	0	0	0	
	建物	63,425,837	59,704,498	△3,721,339	固定負債	特別区債	0	0	
	工作物	15,761,317	13,807,890	△1,953,427		退職給与引当金	53,483,961	56,293,951	2,809,990
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	56,976,061	60,029,946	3,053,885	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	23,148,743	14,420,092	△8,728,651	
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	80,124,804	74,450,038	△5,674,766	
資産の部 合計	80,124,804	74,450,038	△5,674,766						

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月島特別出張所 58,751,546円</li> <li>・月島特別出張所等複合施設自転車置き場(3カ所) 952,952円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 8,657,415円</li> <li>・月島特別出張所時計塔設備 3,584,574円</li> <li>・月島特別出張所時計塔廻り設備 804,100円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月島特別出張所等減価償却による減 △3,721,339円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備等減価償却による減 △1,953,427円</li> </ul>
勘定科目	土地	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月島特別出張所等敷地 937,650円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増減なし</li> </ul>	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年以上が経過し、建物及び設備の老朽化が進んでいることから、毎年、維持補修工事・小破修理が多く発生している。
- ・月島地域の人口は、今後、選手村跡の住宅入居をはじめ、大規模住宅の入居が続くため、当分の間増加傾向になることが見込まれる。
- ・窓口利用件数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しているが、コロナ収束後は人口増加に比例して窓口利用の増加が見込まれる。
- ・今後の窓口業務は、キャッシュレス決済導入等デジタル技術の活用による利便性の向上など、区民ニーズに合ったサービスを提供していく必要がある。

② 今後の方向性

- ・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、常に点検等を丁寧に行うことで、大規模な補修にいたるケースを未然に防ぎ経費の抑制及び平準化を図りながら引き続き計画的な維持補修を行っていく。
- ・月島地域の人口増加に伴う多様な区民ニーズに対応するため、晴海地区に令和6年度開設予定の特別出張所に配置する職員の育成や施設の設備管理業者の選定などの準備を進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・コミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。  
 ・区内町会長及び自治会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

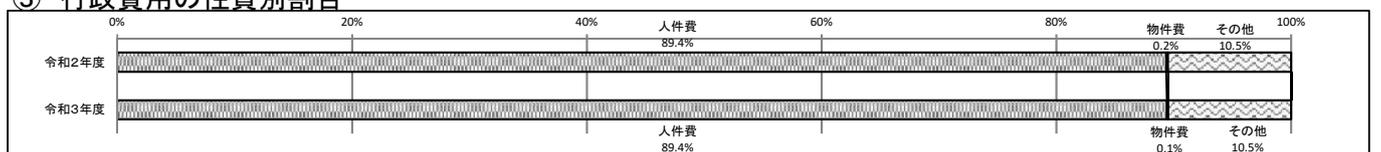
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	3,860,985	3,741,549	△119,436	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	6,509	4,587	△1,922		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	453,316	438,627	△14,689		行政収支差額	△4,320,810	△4,184,763	136,047
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	4,320,810	4,184,763	△136,047	通常収支差額	△4,320,810	△4,184,763	136,047		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△4,320,810	△4,184,763	136,047		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	4,434,689	4,274,669	△160,020		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	113,879	89,906	△23,973		

② 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	-	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	-	主な増減理由	-

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	-	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	-	主な増減理由	-

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	191,874	184,950	△6,924
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	0	0	0		退職給与引当金	2,938,679	2,786,829	△151,850
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	3,130,553	2,971,779	△158,774
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△3,130,553	△2,971,779	158,774	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(月島地域)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数(団体)	45	45	45	46	46
出席団体数(団体)	37	35	36	※	※
出席率(%)	82.2	77.8	80.0	※	※

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

4 総括

① 現状・成果・課題

・月島地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しているが、令和3年度は、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった。この会議は、町会長・自治会長から直接意見をいただく場として重要な役割を果たしているため、新型コロナウイルス感染症収束後は、従来と同様の形式で実施していく。

・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業の周知を図っていく。特に、晴海地区で新たに入居が始まる大規模住宅の自治会結成や既存の連合町会と新たなコミュニティの連携・共存などに向け、今までより踏み込んだ支援を行うことで地域における良好なコミュニティ形成に寄与していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

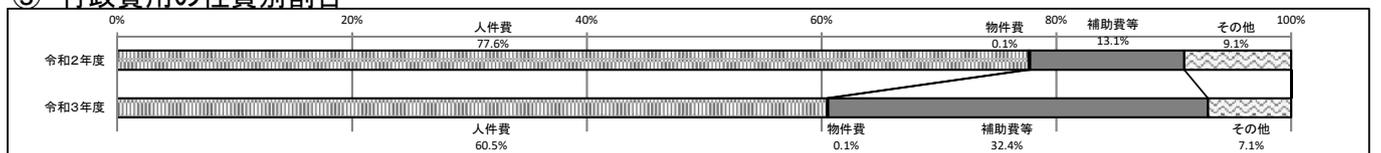
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,860,985	3,741,549	△119,436	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	6,509	4,587	△1,922		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	652,000	2,002,000	1,350,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	453,316	438,627	△14,689		行政収支差額	△4,972,810	△6,186,763	△1,213,953
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	4,972,810	6,186,763	1,213,953	通常収支差額	△4,972,810	△6,186,763	△1,213,953		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△4,972,810	△6,186,763	△1,213,953		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	5,086,689	6,276,669	1,189,980		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	113,879	89,906	△23,973		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 2,002,000円	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	・地域手づくりイベント実績増による助成金の増 1,350,000円	主な増減理由	-

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	-	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	-	主な増減理由	-

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	191,874	184,950	△6,924
				その他		0	0	0	
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
	建物	0	0	0		退職給与引当金	2,938,679	2,786,829	△151,850
	工作物	0	0	0		その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0		負債の部合計	3,130,553	2,971,779	△158,774
	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△3,130,553	△2,971,779	158,774	
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0	
	その他	0	0	0					
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(月島)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象団体数(団体)	46	45	46	46	46
助成団体数(団体)	33	35	32	6	10
助成割合(%)	71.7	77.8	69.6	13.0	21.7
助成件数(件)	46	49	43	10	17

地域盆おどり大会助成件数(月島)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
助成件数(件)	22	4	23	※	※

※平成30年度は「住吉神社大祭(3年に1回開催)」開催年度のため実績減

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆おどりの開催に対し、助成を行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、町会・自治会が開催方法や内容を工夫した結果、令和2年度に比べ助成団体数および助成件数ともに若干増加したが、いまだ多くの町会・自治会がイベントや盆おどりの開催を控えている状況にある。

・今後のイベントおよび盆おどりの開催については、新型コロナウイルス感染症の状況や国や東京都からの要請及び協力依頼内容に大きく影響されることが懸念される。

② 今後の方向性

・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を高めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。

・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、引き続き町会・自治会と連携しながら、地域のイベント等を支援していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。</li> <li>・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2	中事業3
地域コミュニティルーム管理事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・町会・自治会活動の円滑化を促進し、地域コミュニティの活性化を図るため、一定地域内(連合町会単位)の複数の町会・自治会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの管理を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

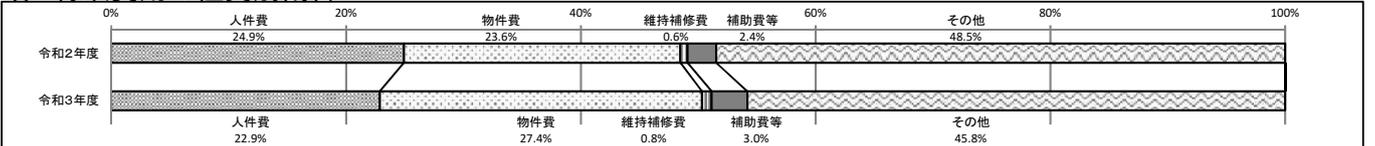
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	2,316,590	2,244,930	△71,660	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	2,188,565	2,692,819	504,254		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	55,000	81,180	26,180		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	227,000	298,000	71,000		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	4,232,609	4,232,609	0		その他	115,635	116,534
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	115,635	116,534
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,990	263,177	△8,813		行政収支差額	△9,176,119	△9,696,181
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計	9,291,754	9,812,715	520,961	通常収支差額	△9,176,119	△9,696,181		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△9,176,119	△9,696,181		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	5,011,837	5,517,515		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△4,164,282	△4,178,666		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 2,054,905円 ・光熱水費 420,309円	決算額の主な内訳	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金 298,000円
主な増減理由	・使用量実績増による光熱水費増 293,321円 ・空調機保守点検委託の皆増 182,490円	主な増減理由	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営に係る助成金の増 71,000円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・洋室扉修理工事 81,180円	決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム光熱水費立替分収入 116,534円
主な増減理由	・洋室扉修理工事の皆増 81,180円	主な増減理由	・使用量実績増による光熱水費増 899円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	115,124	110,970	△4,154
固定資産	土地	0	0	0		その他	0	0	0
	建物	84,960,259	80,727,650	△4,232,609	固定負債	特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	1,763,208	1,672,098	△91,110
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		1,878,332	1,783,068	△95,264
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		83,081,927	78,944,582	△4,137,345
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		84,960,259	80,727,650	△4,232,609
資産の部 合計		84,960,259	80,727,650	△4,232,609					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 73,251,300円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 7,476,350円	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	・勝どきコミュニティルーム及び月島清澄通りコミュニティルーム減価償却による減 △4,232,609円	主な増減理由	-
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	-	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	-	主な増減理由	-

3 関連データ

月島地域コミュニティルーム

名称	開設年月	面積(m <sup>2</sup> )
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	366.7
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145.26

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会の自主管理のもと、コロナ禍においても、感染症防止対策を講じながら町会・自治会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。  
 ・月島地域コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。  
 ・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会・自治会等の活動の場を提供していく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名 区民部文化・生涯学習課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。</li> <li>・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域文化活動の推進	中事業2	中事業3
地域文化活動の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・まるごとミュージアムは、区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力(名所・旧跡、画廊・美術館、水辺等)を楽しみ享受できる一日となるよう実施している。  
 ・まちかど展示館は、地域住民自らが文化資源を展示・公開する施設等の運営を支援している。また、まちかど展示館運営協議会を中心に、観光・文化資源として活用していくための取組を推進している。  
 ・東京国際合唱コンクールは、区民が世界水準の合唱文化に触れ、国際交流を深めることで、本区の文化振興および生涯学習意欲の向上をより一層推進するため実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

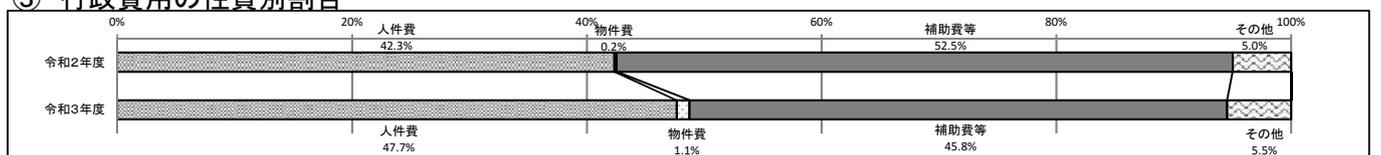
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	17,725,328	16,856,890	△868,438	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	82,500	388,570	306,070		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	21,972,038	16,196,417	△5,775,621		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	10,000	10,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	10,000	10,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,085,253	1,929,959	△155,294		行政収支差額	△41,865,119	△35,361,836	6,503,283
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	41,865,119	35,371,836	△6,493,283	通常収支差額	△41,865,119	△35,361,836	6,503,283		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△41,865,119	△35,361,836	6,503,283		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	42,388,965	35,757,421	△6,631,544		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	523,846	395,585	△128,261		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちかど展示館運営協議会補助金 10,660,117円</li> <li>・東京国際合唱コンクール負担金 3,300,000円</li> <li>・まちかど展示館に係る施設管理運営費助成金 2,015,000円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京国際合唱コンクール記念品購入 224,290円</li> <li>・東京国際合唱コンクール開催によるオープニングコンサート会場等使用料 164,280円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちかど展示館ホームページ改修完了等による補助金減 △7,008,245円</li> <li>・昨年中止した東京国際合唱コンクール開催による負担金増 3,115,524円</li> <li>・まちかど展示館改装整備費助成金皆減 △1,486,000円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年中止した東京国際合唱コンクールおよびオープニングコンサート開催による会場等使用料等皆増 388,570円</li> <li>・まちかど展示館プレート購入費皆減 △82,500円</li> </ul>
勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税による分野指定寄附金 10,000円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税による分野指定寄附金皆増 10,000円</li> </ul>	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

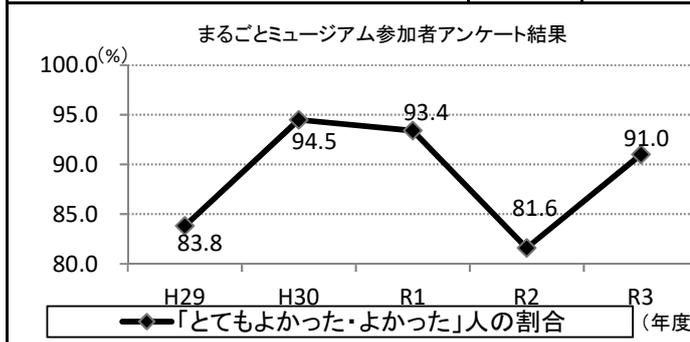
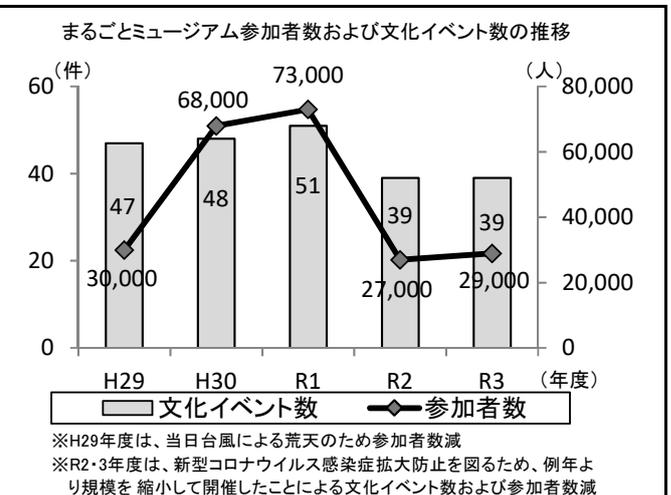
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	882,619	813,781	△68,838
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	13,517,924	12,262,049	△1,255,875
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	14,400,543	13,075,830	△1,324,713
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△14,400,543	△13,075,830	1,324,713
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	令和2年度	令和3年度
まちかど展示館認定件数・助成件数(件・件)	29・23	29・21
東京国際合唱コンクール延観覧者数(人) (入場チケット・ライブ配信チケット購入者数等)	中止	1,491



4 総括

① 現状・成果・課題

・まるとミュージアムは、昨年と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して実施し、参加者数は微増であったが、参加者からは高い評価を得ており、区民が文化に触れる機会を提供することができている。令和3年度は、周遊船の増便や日本橋周遊ルートの一部見直しなどによる乗船者数の拡大や、デジタルスタンプラリーの導入により感染症対策を行うとともに、参加者の利便性向上を図った。また、専用のオンラインマップを作成し、参加者がスマートフォン等からイベントの実施場所や情報、移動経路などを取得し、効率的に区内を回遊することができるようにした。今後も、多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、継続的に事業内容の充実を図っていく必要がある。

・「まちかど展示館」事業は、スタンプラリー、お正月クイズおよび親子体験バスツアーを実施するなど地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができている。また、銀座三越において、まちかど展示館集合イベント(令和元年度から実施)を開催し、老舗の逸品等の展示や実演・体験を行った。当日は、イベントに参加できる展示館職員が展示品の説明を来場者に行うなど、直接触れ合う機会を設けて、展示館の魅力を伝えるとともに周知を行った。今後も、区民や観光客等への認知をより高めるため、まちかど展示館運営協議会を中心に各施設の周知方法を検討し、季刊誌やウェブサイトを活用した情報発信を行っていくとともに、回遊性をさらに高める取組を進めていく必要がある。

・東京国際合唱コンクールは、会場の定員は半数にし、ライブ配信を行うなど新型コロナウイルス感染症拡大防止を図り、合唱団にはVTRでの参加を認めるなど実施方法を変更して開催した。なお、まちかどコンサートは感染症対策が困難なため中止した。本事業は、観覧者から高い評価を得ており、コンクールの認知を高めるためより多くの区民が合唱に触れる機会を提供していく必要がある。また、実施にあたっては、コンクール会場等の感染症対策(参加団体の人員数や観覧者の入場制限等)を適宜現状に合わせて検討する必要がある。

② 今後の方向性

・まるとミュージアムは、参加事業者と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、より多くの参加者が本区の文化的な魅力に親しめるよう、船の運航ルートの一部見直しにより回遊性を高めるとともに、子どもも楽しめるイベント実施事業者の誘致を積極的に行うなど内容の充実を図り、参加者の満足度向上につなげていく。

・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、集合イベントへの出展および実演・体験コーナーの実施を促すとともに、通年で実施しているスタンプラリーや子ども向けのスタンプラリー、施設見学会等を引き続き実施する。また、幅広い世代への周知を図るため、SNSを活用した情報発信を充実させていく。

・東京国際合唱コンクールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コンクール会場等の感染症対策ガイドラインに基づく事業運営を行う。また、より多くの区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供し、地域に愛されるイベントとして定着させていくため、新型コロナウイルス感染症拡大防止による観覧者の入場制限等の状況下においても、引き続き区民招待者枠の確保に務めていく。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名

教育委員会事務局図書文化財課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。</li> <li>・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。</li> </ul>
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	郷土天文館「タイムドーム明石」の管理運営	中事業2	郷土天文館「タイムドーム明石」の改修	中事業3	
郷土天文館「タイムドーム明石」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を管理運営し、広く区民等に周知を図る。  
 ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展等やテーマに沿った特別展を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。  
 ・プラネタリウムの学習投影を通じて、児童の理科や科学への興味を深める。さらに、生涯学習施設として区民等が知的探究心を満足させることができる空間として、また、エンターテインメント番組などの投影を行うことで、リラクゼーション空間としても活用を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

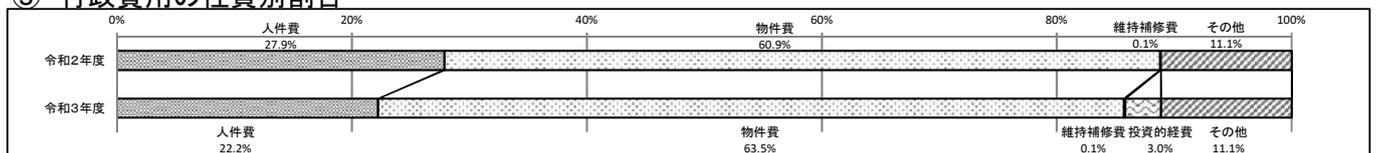
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	40,852,014	31,491,580	△9,360,434	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	89,276,792	89,904,573	627,781		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	73,700	140,800	67,100		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	1,073,652	104,125	△969,527
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	4,315,300	4,315,300		使用料及び手数料	1,738,900	2,683,500	944,600
	減価償却費	14,778,336	14,778,336	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	2,812,552	2,787,625	△24,927
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,541,274	964,979	△576,295		行政収支差額	△143,709,564	△138,807,943	4,901,621
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	146,522,116	141,595,568	△4,926,548	通常収支差額	△143,709,564	△138,807,943	4,901,621		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△143,709,564	△138,807,943	4,901,621		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	129,318,418	124,227,400	△5,091,018		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△14,391,146	△14,580,543	△189,397		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付業務及びプラネタリウム投影委託料 26,084,619円</li> <li>・所蔵品保管委託料 10,111,543円</li> <li>・プラネタリウム番組ソフト借入れ及び延長放映権の使用料 6,050,000円</li> <li>・管理データベースシステムの運用・保守業務委託料 7,122,280円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬及び期末手当 22,737,880円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策緩和に伴う番組再開による委託料の増 1,959,397円</li> <li>・プラネタリウム番組ソフト借入れ及び延長放映権の使用料の増 880,000円</li> <li>・ポスター等印刷費の減 △2,312,750円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統括文化財調査指導員の欠員(1名)及び文化財調査指導員の休職による報酬及び期末手当の減 △3,657,883円</li> </ul>

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視設備改修工事費 4,315,300円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土天文館使用料 2,683,500円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視設備改修工事費の皆増 4,315,300円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策緩和に伴う入館者増による使用料の増 944,600円</li> </ul>

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

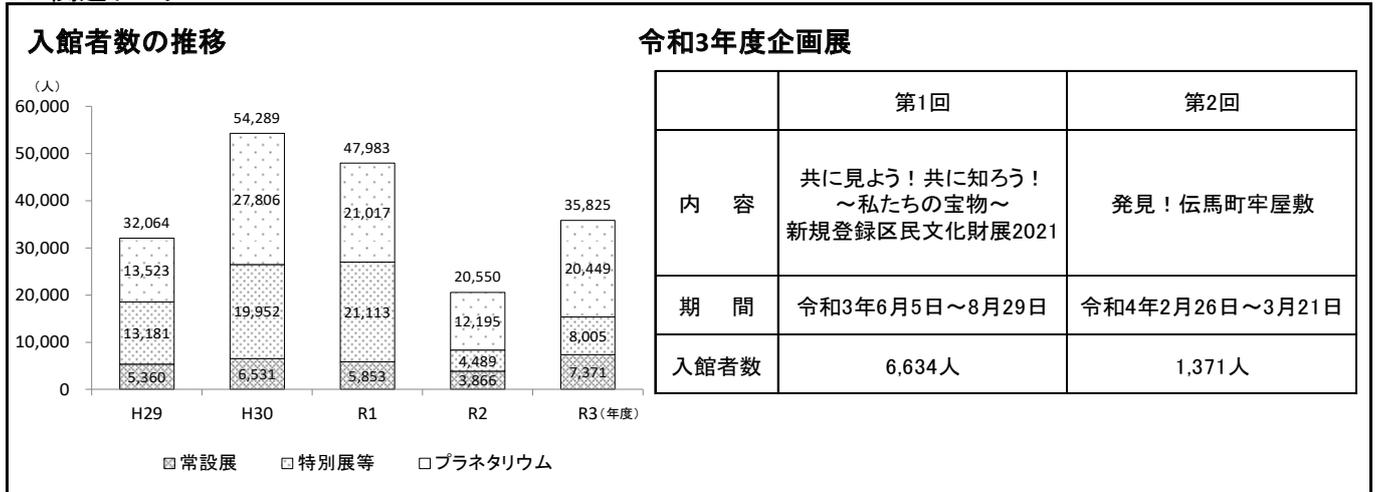
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	652,370	406,891	△245,479
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	217,583,864	203,045,538	△14,538,326		特別区債	0	0	0
	工作物	2,378,840	2,138,830	△240,010		退職給与引当金	9,991,509	6,131,024	△3,860,485
	重要物品	32,200,003	32,200,003	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		10,643,879	6,537,915	△4,105,964
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		241,518,828	230,846,456	△10,672,372
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		252,162,707	237,384,371	△14,778,336
資産の部 合計		252,162,707	237,384,371	△14,778,336					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・郷土天文館 203,045,538円	決算額の主な内訳	・記念物(9点) 32,200,000円 ※非減価償却資産 ・ショーケース・模型 3円
主な増減理由	・減価償却による減 △14,538,326円	主な増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・あかつき公園内シーボルト胸像 995,860円 ・江戸港史跡碑 446,250円 ・海軍経理学校記念碑 380,000円	決算額の主な内訳	-
主な増減理由	・減価償却による減 △240,010円	主な増減理由	-

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・収蔵資料を中心に展示している常設展示に加え、テーマ別の企画展を2回開催した。今後も、本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信していく必要がある。

・プラネタリウムは、親子でプラネタリウム、ヒーリングプラネタリウム等来館者のニーズに合わせた番組、人気の高いエンターテインメント番組の上映とともに、SNS等を活用した周知を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、4月23日に発令された緊急事態宣言を受け4月25日から5月11日まで休館するとともに、入館者数を9月末までは定員の半数となる40人に制限した。緊急事態宣言解除後の10月からは定員を80人とし開館したことから入館者数が増加した。

・令和4年12月4日開設予定の「本の森ちゅうおう」では、郷土資料館と図書館との併設というメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

② 今後の方向性

・時流をとらえたテーマによる企画展・特別展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財にふれる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブスにより、時間や場所を問わずより多くの文化財にふれる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図る。

・「本の森ちゅうおう」において、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料と地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図る。また、館内に整備する郷土資料館では、資料をデジタル化し、ICTを活用した展示手法などを取り入れ、来館する多くの方々が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討をする。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名 教育委員会事務局図書文化財課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。</li> <li>・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。</li> </ul>
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	文化財の保護	中事業2	中事業3
文化財保護事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次世代への継承を図る。  
 ・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	15,147,324	11,666,072	△3,481,252	地方区税	0	0	0
	物件費	3,658,248	2,949,645	△708,603	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	492,030	627,000	134,970	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	3,311,900	3,654,900	343,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	69,160	158,310	89,150
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	69,160	158,310	89,150
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,631,937	1,228,156	△403,781	行政収支差額	△24,172,279	△19,967,463	4,204,816
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
小計	24,241,439	20,125,773	△4,115,666	通常収支差額	△24,172,279	△19,967,463	4,204,816	
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△24,172,279	△19,967,463	4,204,816	
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	24,582,245	20,219,199	△4,363,046	
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	409,966	251,736	△158,230	

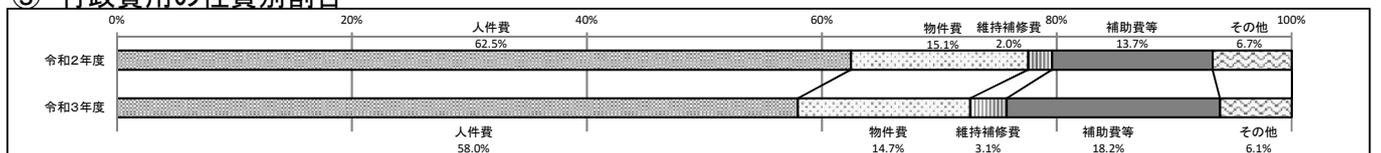
② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区民文化財保護奨励金 1,400,000円</li> <li>・文化財調査補助員謝礼 1,449,900円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロフィルム撮影委託料 1,345,300円</li> <li>・出土遺物保存処理用薬品の購入費 503,052円</li> </ul>
主な増減理由	・文化財調査補助員謝礼金の実績増 324,000円	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入費の減 △455,400円</li> <li>・文化財めぐり中止によるバス等賃借料の減 △190,750円</li> </ul>

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・文化財説明板設置工事 627,000円	決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 158,310円
主な増減理由	・文化財説明板設置工事の単価増による増 134,970円	主な増減理由	・有償刊行物販売実績の増 89,150円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	690,745	517,861	△172,884
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	10,579,245	7,803,122	△2,776,123
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		11,269,990	8,320,983	△2,949,007
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△11,269,990	△8,320,983	2,949,007
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

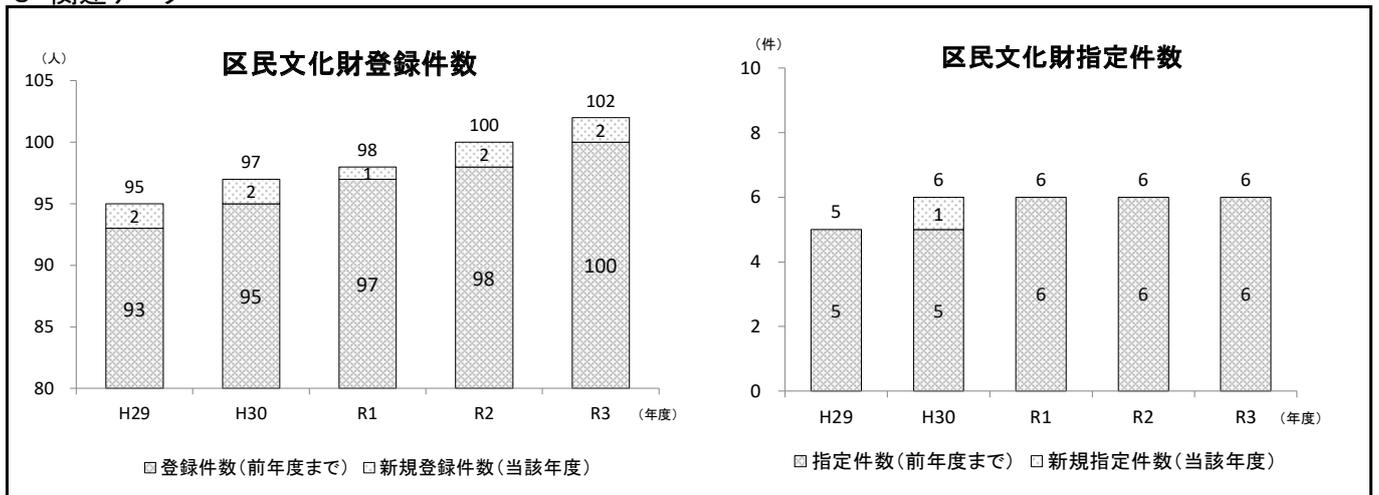
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・中央区民文化財として、新たに2件登録し広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。(指定文化財6件、登録文化財102件)
- ・文化財説明板を新規に2カ所設置した。文字による解説のほか図版や英語表記をしたことで、より多くの人へ文化財に対する理解を深めることができた。
- ・毎年、春と秋の2回実施している文化財めぐりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。
- ・歴史的建造物については、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。歴史的財産の保護に向け、区民の文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。

② 今後の方向性

- ・有形・無形の文化遺産について文化財指導員の調査を進め、重要なものは所有者への働きかけや助言をするなど区民文化財として登録・指定を促し、適切に管理するとともに、常設展示や広報誌、区ホームページ等で幅広く公開していくことで、文化財保護の意識を高める普及・啓発を図る。
- ・文化財説明板の設置においては、引き続き図版や英語表記を適宜追加する。
- ・地域の文化や歴史に対する啓発のため、文化財めぐりの実施方法等を検討する。
- ・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や、文化財めぐり、まち歩きの実施等により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信し、観光振興等にも寄与できるよう検討する。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名

区民部地域振興課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。</li> <li>・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	都市間交流の推進	中事業2	東根市友好都市提携30周年記念事業	中事業3	
地域間交流の推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげるため各都市と交流している。特に、友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むための一助となるよう「中央区・東根市児童交歓会」を実施している。また、令和3年度は、友好都市提携30周年を記念した事業を通して両都市の一層の友好と親善を深める。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

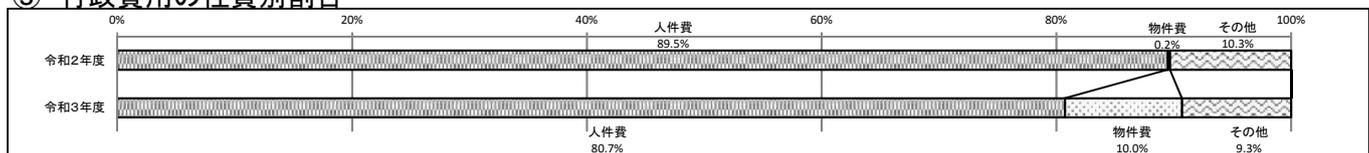
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	7,077,489	9,136,406	2,058,917	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	14,064	1,127,774	1,113,710		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	855,120	855,120
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	855,120	855,120
	賞与・退職給与引当金繰入額	815,969	1,052,705	236,736		行政収支差額	△7,907,522	△10,461,765	△2,554,243
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	7,907,522	11,316,885	3,409,363	通常収支差額	△7,907,522	△10,461,765	△2,554,243		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△7,907,522	△10,461,765	△2,554,243		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	8,112,504	10,677,539	2,565,035		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	204,982	215,774	10,792		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市東根市展実施委託 608,520円</li> <li>・児童交歓会中央区名産品セットの購入 181,919円</li> <li>・友好都市東根市展パネル製作委託 114,400円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金 855,120円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市東根市展実施に伴う委託料の皆増 608,520円</li> <li>・児童交歓会中央区名産品セットの購入による需用費の増 180,143円</li> <li>・友好都市東根市展パネル製作に伴う作成委託料の皆増 114,400円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金の皆増 855,120円</li> </ul>

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	345,373	443,881	98,508
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	5,289,623	6,688,390	1,398,767
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	5,634,996	7,132,271	1,497,275
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△5,634,996	△7,132,271	△1,497,275
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ

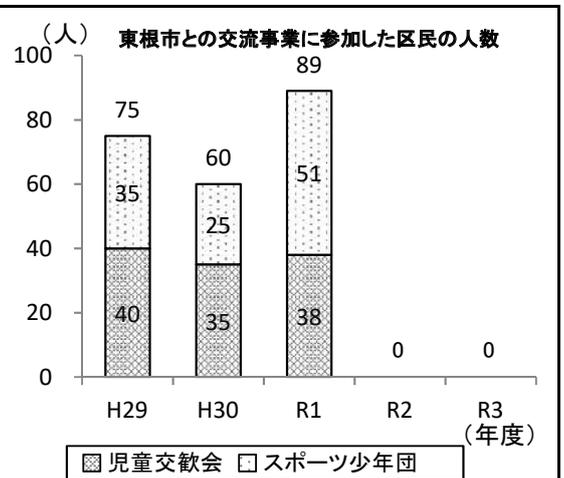
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
さくらんぼ種飛ばし大会参加者数(人)	中止	中止	中止
さくらんぼマラソン大会参加者数(人) (中央区オリジナルTシャツ申込者数※1)	12,564(45)	中止	3,082(0) ※3
児童交歓会参加者数(人・組)	38(19)	次年度へ延期	中止
” 応募者数(人・組)※2	44(22)	-	-
東根市とのスポーツ少年団交流参加者数(人)	51	中止	中止

令和元年度の中止は雨天のため。令和2年度及び3年度の中止・延期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

※1 対象は区内在住・在学・在勤者

※2 隔年で新規の募集を実施している(令和3年度は新規募集なし)

※3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催。オリジナルTシャツについては本区をPRする効果が見込めないため作成なし。



4 総括

① 現状・成果・課題

・新型コロナウイルス感染症による影響等により、友好都市・交流都市においてもイベントの中止や延期が相次いでいるほか、区が主催する大江戸まつり盆おどり大会の中止や児童交歓会の中止など、イベントを伴う交流事業の実施はなかった。

【令和3年度に中止となった各都市のイベントを伴う交流事業】

(山形県東根市) さくらんぼ種飛ばし大会、ひがしね祭 (岡山県玉野市) たまの・港フェスティバル

(東京都檜原村) 払沢の滝ふるさと夏まつり (栃木県栃木市) とちぎ秋まつり (山梨県富士河口湖町) 本栖湖神湖祭

・友好都市東根市との交流事業については、友好都市提携30周年を迎え、「東根市展」にて東根市の魅力や友好の歴史を紹介するパネル・物品展示を本庁舎および両特別出張所で実施した。加えて、30周年を記念し、両都市間で記念品を送りあった。また、オンラインで開催されたさくらんぼマラソンの後援および例年実施しているさくらんぼ品評会の協賛や、区内幼稚園に対するさくらんぼ・りんごの贈呈など、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも可能な交流事業を継続的に実施している。

・児童交歓会については、参加者主催のオンライン交流会の開催を支援し、事業参加後の参加者同士の友好関係の継続を促した。

② 今後の方向性

・令和4年度にオンラインで開催をする「さくらんぼマラソン」の後援など、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し実施される各都市のイベントに対して、交流事業としての協力を継続していく。

・児童交歓会については、例年小学校3年生および4年生を募集対象としているが、令和3年度に事業を1年延期したことから、次回は小学校5年生までを募集対象とする。事業内容については、参加者の意見を取り入れながら参加者の交流が深められる内容を構築していくとともに、事業参加後の参加者同士の友好関係の継続を促すような内容も検討する。

令和4年度(令和3年度分) 事業別行政評価シート

部課名

区民部地域振興課

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。</li> <li>・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	平和事業の推進	中事業2	中事業3
平和推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・中央区平和都市宣言(昭和63年3月15日告示)を記念して開始した「平和の都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、日ごろから平和について考えるきっかけの場を提供するため、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業の実施を通じ、区民への平和意識の普及・啓発に努める。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

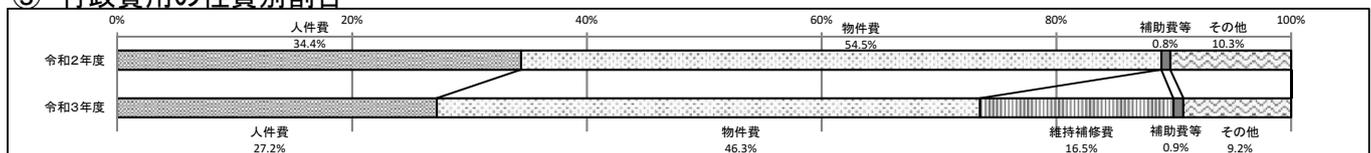
勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	
行政費用	人件費	11,009,428	9,136,406	△1,873,022	地方区税	0	0	0
	物件費	17,455,053	15,535,445	△1,919,608	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	5,530,800	5,530,800	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	244,819	287,544	42,725	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,027,257	2,027,257	0	その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,269,285	1,052,705	△216,580	行政収支差額	△32,005,842	△33,570,157	△1,564,315
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
小計	32,005,842	33,570,157	1,564,315	通常収支差額	△32,005,842	△33,570,157	△1,564,315	
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△32,005,842	△33,570,157	△1,564,315	
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	30,297,447	31,758,674	1,461,227	
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△1,708,395	△1,811,483	△103,088	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和の都市の楽しい集い実施委託 9,339,000円</li> <li>・小・中学校巡回平和展、平和展実施委託 2,793,560円</li> <li>・平和祈念バーチャルミュージアム保守管理委託 1,470,920円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和モニュメント移設工事請負費 5,530,800円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和モニュメント完成披露式典実施委託の皆減 △2,848,461円</li> <li>・平和の都市の楽しい集い実施に伴う委託料の増 885,335円</li> <li>・平和祈念バーチャルミュージアムの保守管理委託料の減 △735,460円</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和モニュメント移設工事皆増 5,530,800円</li> </ul>

勘定科目	減価償却費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛸殻町公園シンボル 1,030,000円</li> <li>・平和の鐘 770,600円</li> <li>・あかつき公園内平和都市宣言碑 162,740円</li> </ul>	決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和祈念バーチャルミュージアム有識者謝礼 225,000円</li> <li>・平和の都市の楽しい集いミス中央謝礼 45,000円</li> <li>・平和の鐘電気料金分担金 17,544円</li> </ul>
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増減なし</li> </ul>	主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和の都市の楽しい集い実施に伴うミス中央謝礼の皆増 45,000円</li> <li>・平和の鐘電気料金分担金の実績減 △2,275円</li> </ul>

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

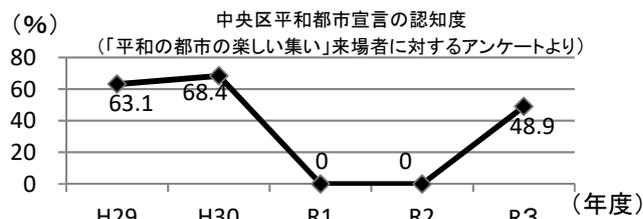
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	537,246	443,881	△93,365
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	39,489,256	37,461,999	△2,027,257		退職給与引当金	8,228,302	6,688,390	△1,539,912
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		8,765,548	7,132,271	△1,633,277
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		30,723,708	30,329,728	△393,980
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		39,489,256	37,461,999	△2,027,257
資産の部 合計		39,489,256	37,461,999	△2,027,257					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 20,600,000円 ・平和の鐘 13,100,200円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 3,092,060円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・蛸殻町公園平和シンボル減価償却による減 △1,030,000円 ・平和の鐘減価償却による減 △770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑減価償却による減 △162,740円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ

項目	令和2年度	令和3年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	中止	372
平和祈念バーチャルミュージアムアクセス数(件)	9,416	9,157
平和資料(写真)保存数累計(枚)	337	345
平和資料(物品)保存数累計(点)	281	286



○各事業のアンケートの意見(抜粋)

- 【平和の都市の楽しい集い】久しぶりに生で演奏、歌を聴くことができ本当にうれしいひとときでした。世界が一日も早く平和に、このようなひとときがすぐせる世の中になることを願うばかりです。
- 【平和展】意義ある取組だと思っています。今後も平和のために続けてください。
- 【巡回平和展】(児童・生徒)せんそうにより、つみのない人々が、悲しんだり、苦しんだりしたことを知り、ぜったいにせんそうをしてはいけないと思った。(教員)話だけではなく、写真など目に映るものは伝える力が大きいと感じます。見て感想を書くという学習は、自分から学ぼうとする力を育てられたと思います。

4 総括

① 現状・成果・課題

・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を毎年開催するとともに、区立の小・中学校において「巡回平和展」を実施し、社会の授業で活用してもらうことなどにより、平和について考える契機づくりに寄与している。また、平和祈念バーチャルミュージアムにおいては、新しいコンテンツを毎年追加し、平和意識の普及・啓発を図っている。さらに、令和3年度に平和祈念バーチャルミュージアムを区ホームページへ一元化したことにより、運用経費の削減につながり、また、更新・修正作業を直接的かつ迅速に行うことが可能となった。

② 今後の方向性

・今後も平和に関する資料の収集・保存を進めるとともに、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を継続的に展開していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。</li> <li>・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	国際交流の推進	中事業2	中事業3
国際交流の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して区民の国際意識の向上と国際都市にふさわしい文化を育む。また、外国人向けの情報の充実や区民が主体となっていく国際交流事業を通じ、外国人区民が地域の文化や習慣に親しめる暮らしやすいまちにする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

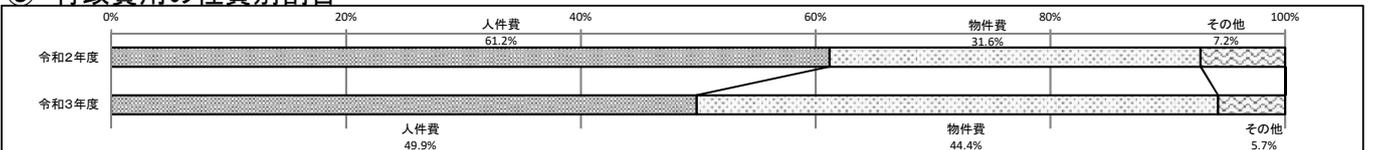
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A		
行政費用	人件費	6,165,331	7,662,223	1,496,892	行政収入	地方区税	0	0	
	物件費	3,185,623	6,826,439	3,640,816		特別区財政調整交付金	0	0	
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	725,306	877,255	151,949		行政収支差額	△10,076,260	△15,365,917	△5,289,657
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	10,076,260	15,365,917	5,289,657	通常収支差額	△10,076,260	△15,365,917	△5,289,657		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△10,076,260	△15,365,917	△5,289,657		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	10,258,467	15,545,728	5,287,261		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	182,207	179,811	△2,396		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳・翻訳に係る人材派遣 3,209,139円</li> <li>・外国人向け生活ガイドブック作成業務委託 2,129,600円</li> <li>・サザランド市姉妹都市提携30周年記念誌作成経費1,445,400円</li> </ul>	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人向け生活ガイドブックおよびサザランド市姉妹都市提携30周年記念誌作成経費皆増 3,575,000円</li> <li>・通訳・翻訳に係る人材派遣の勤務日数増による役務費増 63,799円</li> </ul>	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

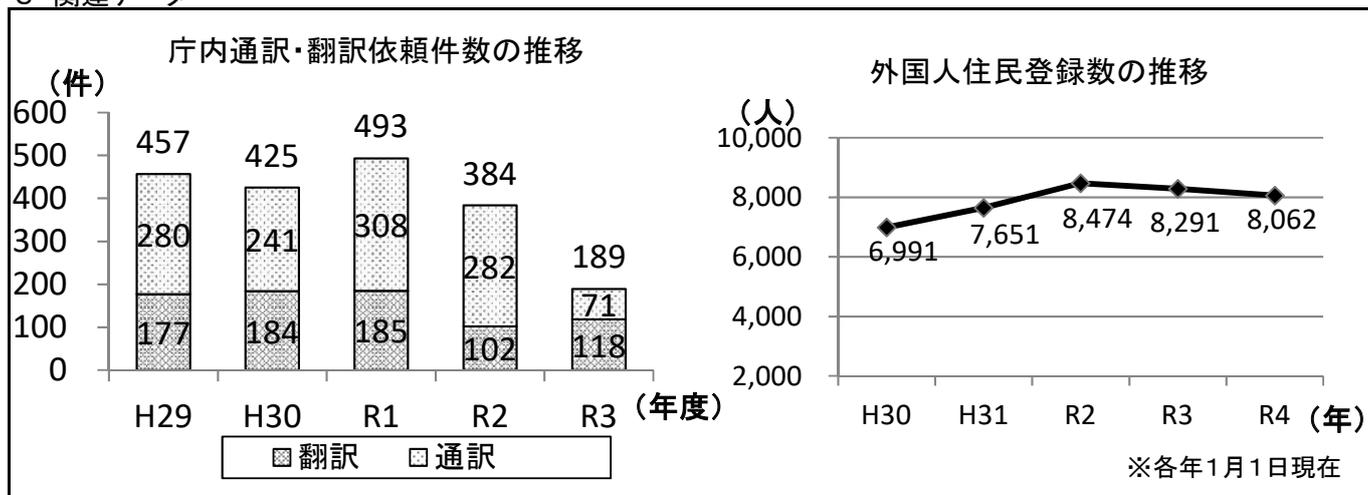
(単位:円)

勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	306,998	369,900	62,902
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	4,701,887	5,573,659	871,772
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	5,008,885	5,943,559	934,674
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△5,008,885	△5,943,559	△934,674
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	主な 増減理由	勘定科目	決算額の 主な内訳	主な 増減理由
	—	—		—	—
	—	—		—	—
	—	—		—	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事の一つとして代表団による訪問と受け入れを行っている。令和3年度は姉妹都市提携30周年にあたる年であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため代表団訪問・受け入れ行事は中止した。

・外国人からの問合せなどに対し、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、案内を適切に行っている。一方で、令和3年度から外国語通訳サービスが開始され、タブレットを活用したテレビ電話通訳や音声機械通訳が窓口で行えるようになり、通訳依頼件数は減少している。

・生活ガイドブックを転入時に配布し、本区の行政サービス等の案内を行う際に積極的な活用を促し、外国人が暮らしやすい環境づくりを進めている。令和3年度は改定年であるため、掲載内容を精査し、現状の行政サービスに合わせて修正を行った。(3年ごとに改定。)

② 今後の方向性

・サザランド市との姉妹都市提携の周年行事については、35周年(令和8年)の事業実施に向けてサザランド市と適宜協議していく。

・通訳・翻訳窓口の運営については、通訳依頼件数が減少していることから、設置日の見直しなどについて検討する。また、通訳については、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら案内を適切に行い、翻訳については、依頼者である職員と通訳担当が連絡を密に取りながら行政サービス等の情報をより正確に翻訳するよう努めていく。

・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、東京都主催の会議や研修会に参加するなどさまざまな機会を捉えて把握に努めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。</li> <li>・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。</li> </ul>
関連する個別計画	

大事業	中事業1	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	中事業2	中事業3
「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちにしていくために設立された中央区文化・国際交流振興協会(以下、「協会」という。)に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

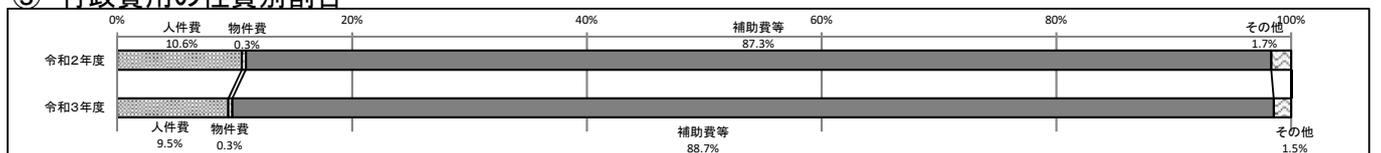
(単位:円)

勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	10,789,331	10,727,113	△62,218	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	344,894	376,306	31,412		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	88,756,569	100,510,462	11,753,893		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	451,392	451,392	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,269,285	1,228,156	△41,129		行政収支差額	△101,611,471	△113,293,429	△11,681,958
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小計	101,611,471	113,293,429	11,681,958	通常収支差額	△101,611,471	△113,293,429	△11,681,958		
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△101,611,471	△113,293,429	△11,681,958		
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	101,478,941	113,093,773	11,614,832		
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△132,530	△199,656	△67,126		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・協会助成金 100,510,462円	決算額の主な内訳	・光熱水費および施設維持管理費 376,306円
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に中止した古典芸能鑑賞会の開催による増 4,670,254円</li> <li>・まるごとミュージアム開催に伴う感染症対策等による増 3,085,915円</li> <li>・協会創立30周年記念事業実施による皆増 2,302,494円</li> </ul>	主な増減理由	・光熱水費実績増 27,569円
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

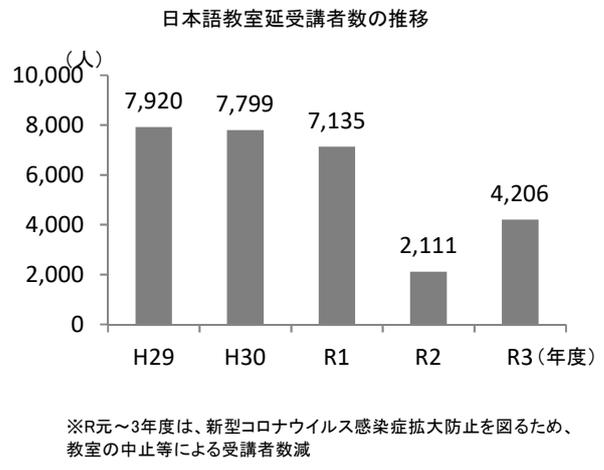
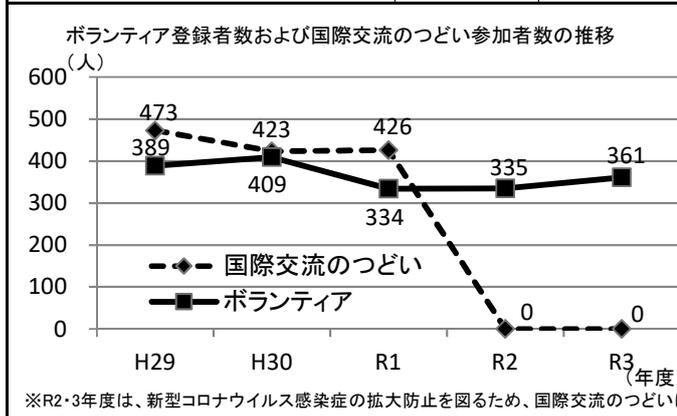
勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	537,246	517,861	△19,385
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	8,228,302	7,803,122	△425,180
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		8,765,548	8,320,983	△444,565
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△8,765,548	△8,320,983	444,565
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	令和2年度	令和3年度
ボランティア新規登録者数(人)	7	33



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・中央区文化・国際交流振興協会は、令和3年度で創立30周年を迎え、令和3年12月に記念式典を行った。
- ・文化振興事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員抑制や開催時間の短縮などの対策を行い、古典芸能鑑賞会、文化講座等を開催するとともに、文化事業の助成を受けた7団体の内6団体は事業内容や実施方法を一部変更するなどして実施した。感染症対策により、区民が文化に触れる機会は感染症拡大前より減ってはいるが、区民主体で行われる文化活動に対し支援することはできた。
- ・国際交流振興事業は、新型コロナウイルス感染症により「国際交流のつどい」は中止したが、「国際交流サロン」は、感染症対策を行った上で開催し、異文化理解・相互理解を図った。
- ・日本語教室は、緊急事態宣言期間中は中止したが、日本語を学びたい外国人に対し、感染症対策を行った上で実施(1団体はオンラインで実施)した。また、日本語指導者養成講座の開催によりボランティア指導者を養成し、日本語ステップアップ講座は対面講座からオンライン講座に変更して開催するなど、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図った。引き続き、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図るとともに、より多くの外国人が日本語を学べるよう日本語指導者を養成し、日本語教室を開催する必要がある。
- ・協会登録のボランティアは、新規登録者およびボランティア種別ごとの登録者はいずれも増加している。また、ボランティア派遣は、感染症の影響により派遣機会は減ったが、ボランティア研修会を会場での受講やオンライン配信により実施し、ボランティア活動支援を図った。引き続き、保健センターで実施している1歳6カ月児健診等での通訳のほか活動場所の拡大や、一人一人のスキルアップ等への活動支援を強化していく必要がある。

② 今後の方向性

- ・区民が文化に触れる機会をより多く持ってもらうため、各種文化事業の一層の充実を図るとともに継続的な活動への支援を行っていく。
- ・国際交流振興事業は、異文化理解・相互理解を図るため、感染症対策を行いながら開催できる内容を検討し、外国人区民等を対象とする「国際交流のつどい」や「国際交流サロン」などの各種国際交流事業に対し支援していく。
- ・協会およびボランティア団体が実施する「日本語教室」について、日本語指導者の指導力・技法のスキルアップを引き続き行うとともに、日本語指導者養成講座を受講したボランティアに日本語教室の開催を促すなど、拡充を図る。
- ・協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が多様な分野で活躍できるよう、引き続き支援を行っていく。

